

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2022年1月5日提出
【発行者名】	大和アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松下 浩一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏 連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	10兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）（愛称：四国の未来（年1回））

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（契約型）の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(3)【発行（売出）価額の総額】

10兆円を上限とします。

(4)【発行（売出）価格】

1万口当たり取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(5)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）となっています。

具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

(6)【申込単位】

販売会社にお問合わせ下さい。

(7)【申込期間】

2022年1月6日から2022年7月4日まで（継続申込期間）

（終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）

(8)【申込取扱場所】

下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(9)【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日（くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。）までに、取得申込代金（取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。）を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10)【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

(11)【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。

株式会社 証券保管振替機構

(12)【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、わが国の株式および海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類表

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信	国内	株式
	海外	債券
追加型投信	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (含む日本)		
債券 一般	年2回	日本		
公債	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ()
社債	年6回 (隔月)	欧州		
その他債券 クレジット属性 ()		アジア		
不動産投信		オセアニア		
その他資産 投資信託証券 資産複合 資産配分固定型 (株式、債券)	年12回 (毎月)	中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
資産複合 ()	日々	アフリカ		
資産配分固定型	その他 ()	中近東 (中東)		
資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

(注1) 商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行なわれないファンド
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
投資対象地域	国内	目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	海外	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	内外	目論見書等において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
投資対象資産	株式	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの
	債券	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるもの
	不動産投信（リート）	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるもの
	その他資産	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券、不動産投信（リート）以外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	資産複合	目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMF
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRF
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託
補足分類	インデックス型	目論見書等において、各種指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	特殊型	目論見書等において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

(注2) 属性区分の定義

投資対象 資産	株式	一般	大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのもの
		大型株	目論見書等において、主として大型株に投資する旨の記載があるもの
		中小型株	目論見書等において、主として中小型株に投資する旨の記載があるもの
	債券	一般	公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのもの
		公債	目論見書等において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。）に主として投資する旨の記載があるもの
		社債	目論見書等において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるもの
		その他債券	目論見書等において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるもの
		格付等クレジットによる属性	目論見書等において、特にクレジットに対して明確な記載があるもの
	不動産投信	目論見書等において、主として不動産投信（リート）に投資する旨の記載があるもの	
	その他資産	目論見書等において、主として株式、債券、不動産投信（リート）以外に投資する旨の記載があるもの	
	資産複合	目論見書等において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分固定型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分変更型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないもの	
決算頻度	年1回	目論見書等において、年1回決算する旨の記載があるもの	
	年2回	目論見書等において、年2回決算する旨の記載があるもの	
	年4回	目論見書等において、年4回決算する旨の記載があるもの	
	年6回（隔月）	目論見書等において、年6回決算する旨の記載があるもの	
	年12回（毎月）	目論見書等において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるもの	
	日々	目論見書等において、日々決算する旨の記載があるもの	
	その他	上記属性にあてはまらないすべてのもの	

投資対象地域	グローバル	目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	日本	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	北米	目論見書等において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	欧州	目論見書等において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アジア	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	オセアニア	目論見書等において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中南米	目論見書等において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アフリカ	目論見書等において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中近東（中東）	目論見書等において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	エマージング	目論見書等において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるもの
投資形態	ファミリーファンド	目論見書等において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するもの
	ファンド・オブ・ファンズ	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
為替ヘッジ	あり	目論見書等において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるもの
	なし	目論見書等において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの
対象インデックス	日経225	目論見書等において、日経225に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	TOPIX	目論見書等において、TOPIXに連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	その他の指数	目論見書等において、上記以外の指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
特殊型	ブル・ベア型	目論見書等において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行なうとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）をめざす旨の記載があるもの
	条件付運用型	目論見書等において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるもの
	ロング・ショート型 / 絶対収益追求型	目論見書等において、ロング・ショート戦略により収益の追求をめざす旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求をめざす旨の記載があるもの
	その他型	目論見書等において、特殊型のうち上記に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

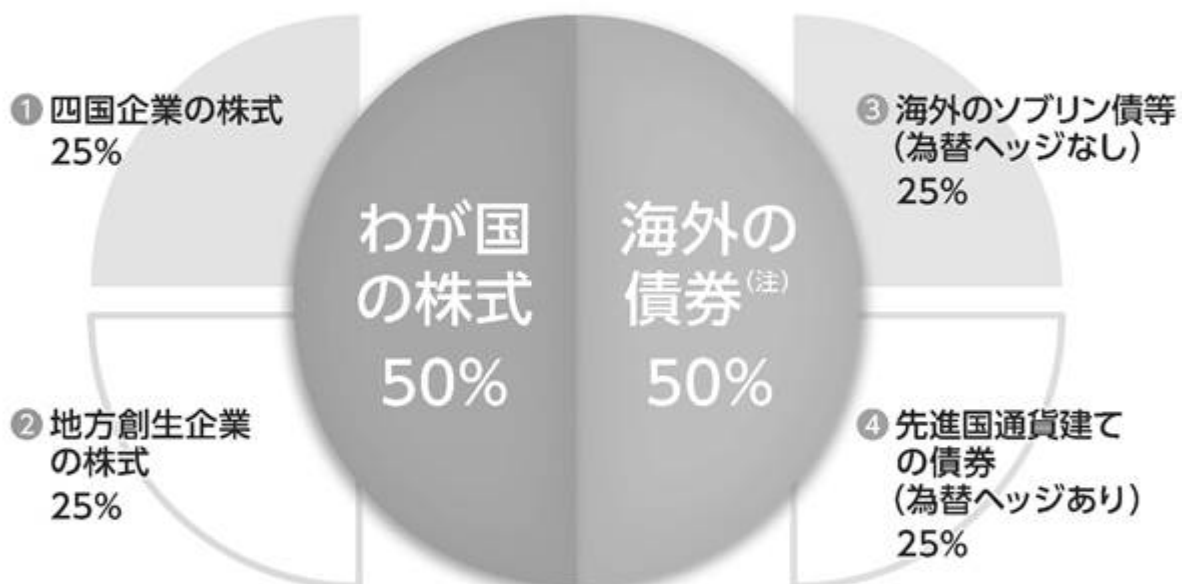
< 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、1,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの特色 >

1 四国企業および地方創生企業の株式ならびに海外の債券に投資します。

- 各資産について、下記の組入比率を目処に投資します。



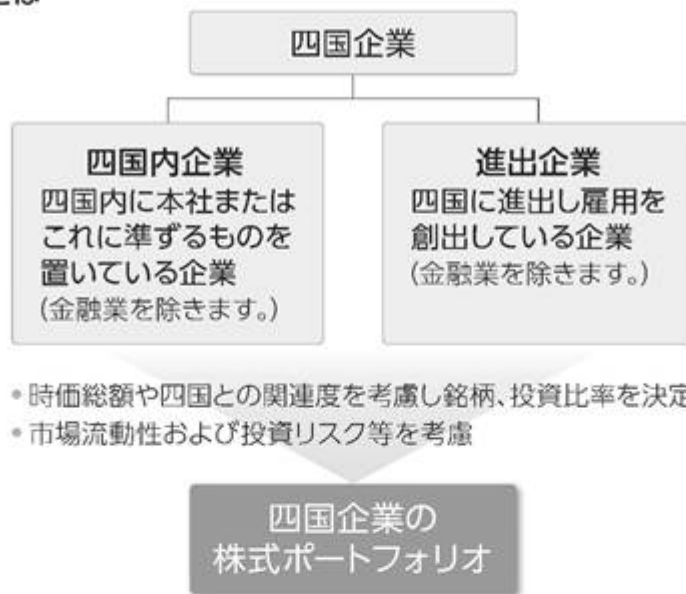
(注) ④先進国通貨建ての債券においては、円建ての債券に投資する場合があります。

※上記はイメージであり、実際の組入比率とは異なります。

[各資産の投資方針]

① 四国企業の株式

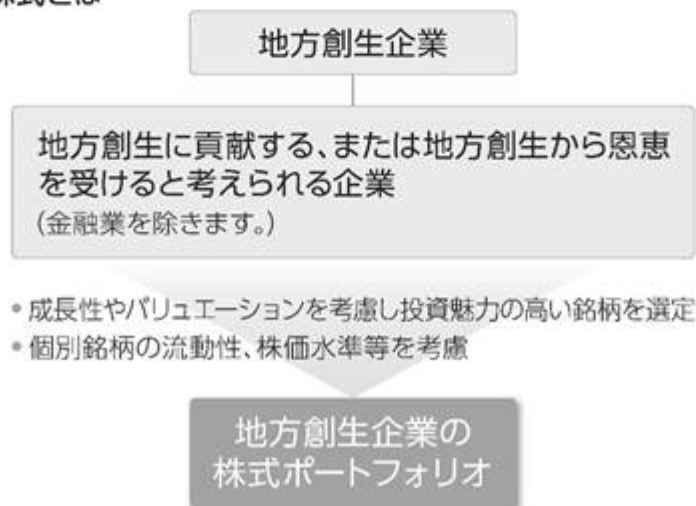
四国企業の株式とは



※「四国企業の株式」部分の運用は四国応援マザーファンドを通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 四国応援マザーファンド」をご参照下さい。

② 地方創生企業の株式

地方創生企業の株式とは



※「地方創生企業の株式」部分の運用は地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)を通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)」をご参照下さい。

③ 海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)

「海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)」部分の運用にあたっては、海外のソブリン債等(国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など)に投資します。

- ドル通貨圏、欧州通貨圏の2通貨圏への投資割合を50%程度ずつとすることを基本とします。(ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします。)
- 国債の格付けは、取得時においてA格相当以上(ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上)、国債以外の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上)とすることを基本とします。
- ポートフォリオの修正デュレーションは5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。
- 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。

為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

※「海外のソブリン債等(為替ヘッジなし)」部分の運用はダイワ・外債ソブリン・マザーファンドを通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」をご参照下さい。

④ 先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)

「先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)」部分の運用にあたっては、先進国通貨建て債券に投資します。

- 先進国通貨とはFTSE世界国債インデックスの構成通貨をいいます。
- 組入れる債券(国債を除きます。)の格付けは、取得時においてBBB格相当以上(R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上)とします。
- 運用の効率化を図るために、債券先物取引等を利用することがあります。

為替変動リスクを低減するための為替ヘッジを行ないます。

※「先進国通貨建ての債券(為替ヘッジあり)」部分の運用はネオ・ヘッジ付債券マザーファンドを通じて行ないます。当部分の運用について、くわしくは、「投資対象ファンドの概要 ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」をご参照下さい。

FTSE世界国債インデックスについて

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

【ご参考】

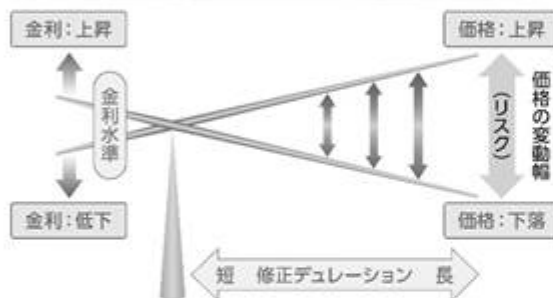
債券の格付けについて

信用度	ムーディーズの場合	R&I, JCR, S&P、 フィッチの場合
高い	Aaa	AAA
	Aa { Aa1 Aa2 Aa3 }	AA { AA+ AA AA- }
	A { A1 A2 A3 }	A { A+ A A- }
	Baa { Baa1 Baa2 Baa3 }	BBB { BBB+ BBB BBB- }
	Ba	BB
	B	B
	⋮	⋮
低い		

債券の格付けとは、償還時までの債券の元本、利息の支払いの確実性に関する将来の見通しを示すもので、ムーディーズ(Moody's)、格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)、S&Pグローバル・レーティング(S&P)、フィッチ・レーティングス(Fitch)などといった格付会社が各債券の格付けを行なっています。付与された格付けは、随時見直しが行なわれ、発行体の財務状況の変化などによって格上げや格下げが行なわれることがあります。

修正デュレーションについて

金利変動と修正デュレーションの関係(イメージ)



- 修正デュレーションとは、「金利が変動したときに債券価格がどのくらい変化するか」を示す指標です。
- 修正デュレーションが長いほど、金利が変動したときの債券価格の変動(ブレ幅)が大きくなります。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、以下の4本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、四国企業の株式、地方創生企業の株式、海外のソブリン債等および先進国通貨建て債券に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

- 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想される時、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。



毎年4月10日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2018年4月10日(休業日の場合翌営業日)までとします。

[分配方針]

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<投資対象ファンドの概要>

1. 四国応援マザーファンド

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、四国企業（金融業を除きます。）に投資し、信託財産の成長をめざします。 2. 四国企業とは、四国内に本社またはこれに準ずるものを置いている企業（以下「四国内企業」といいます。）、および四国に進出し雇用を創出している企業（以下「進出企業」といいます。）とします。 3. 四国企業の株式への投資のうち個々の銘柄への投資については、市場流動性および投資リスク等を考慮します。 4. 四国内企業の株式への投資については、それぞれの時価総額に応じた投資比率（上限を設ける場合があります。5.においても同じ）とすることを基本とします。 5. 進出企業の株式への投資については、時価総額と四国内従業員数など四国との関連度を考慮して銘柄選定を行ない、それぞれの時価総額に応じた比率に一定の値を乗じた投資比率で組入れを行なうことを基本とします。 6. 株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 7. 運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 8. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

信託期間	無期限（2017年7月28日当初設定）
決算日	毎年4月10日（休業日の場合翌営業日）
運用管理費用 （信託報酬）	かかりません。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

2. 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	地方創生マザーファンド（以下マザーファンドといいます。）の受益証券
投資態度	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、地方創生企業に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>地方創生企業とは、地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業（金融業を除きます。）とします。</p> <p>2. マザーファンドの運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ) 地方創生企業の株式を投資候補銘柄とします。</p> <p>ロ) 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ニ) 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。</p> <p>3. マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>4. マザーファンドにおいて、運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、マザーファンドにおいて、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>5. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p> <p>6. 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズのみを取得させることを目的とするものです。</p>

マザーファンドの 投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)の中から、地方創生企業に投資し、信託財産の成長をめざします。地方創生企業とは、地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業(金融業を除きます。)とします。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> イ) 地方創生企業の株式を投資候補銘柄とします。 ロ) 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。 ハ) 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。 ニ) 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行いません。 3. 株式の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 4. 運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 5. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。
信託期間	2027年4月8日まで(2017年7月31日当初設定)
決算日	3月、9月の各24日(休業日の場合翌営業日)
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し、年率0.583%(税抜0.53%)を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)の他に、信託事務の諸費用、監査報酬、およびその他諸費用がかかります。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	みずほ信託銀行株式会社

3. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

基本方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等

投資態度	<p>1. 主として海外のソブリン債等(国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など)に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>2. 海外のソブリン債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ) 米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等をドル通貨圏、ユーロ、ポンド、北欧通貨および東欧通貨等を欧州通貨圏とし、2通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。</p> <p> 北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ</p> <p> 東欧通貨：ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、チェコ・コルナ等</p> <p>ロ) ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします(ただし、欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。)。</p> <p>ハ) 国債については、取得時においてA格相当以上(ムーディーズでA3以上またはS&PでA - 以上)とすることを基本とします。国債を除く投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA - 以上)とすることを基本とします。</p> <p>ニ) ポートフォリオの修正デュレーションは5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。</p> <p>ホ) 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>3. 為替については、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建資産の投資比率合計を、信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>4. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
信託期間	無期限(2005年4月26日当初設定)
決算日	4月、10月の各10日(休業日の場合翌営業日)
運用管理費用 (信託報酬)	かかりません。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

4. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

基本方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建て債券

投資態度	<p>1. 主として、先進国通貨建て債券に投資し、為替変動リスクを低減するための為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>2. 組入れる債券（国債を除きます。）の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（R&I、JCR、S&P、フィッチのいずれかでBBB-以上またはムーディーズでBaa3以上）とします。</p> <p>当ファンドにおいて先進国通貨とはFTSE世界国債インデックスの構成通貨をいいます。</p> <p>3. 対円で為替ヘッジを行なうことを前提に、各国の長短金利の状況、信用環境、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。</p> <p>4. 債券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>5. 運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。また、債券先物取引等の売建玉の時価総額が債券の組入総額を超えることがあります。</p> <p>6. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
信託期間	無期限（2014年11月14日当初設定）
決算日	毎年6月15日（休業日の場合翌営業日）
運用管理費用 （信託報酬）	かかりません。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

(2) 【ファンドの沿革】

2017年7月28日

信託契約締結、当初設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

受益者	お申込者
	収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3 ）

お取扱窓口	販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1 ）に基づき、次の業務を行ないません。</p> <p>受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務</p> <p style="text-align: right;">など</p>
1	収益分配金、償還金など お申込金（ 3 ）	
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社	<p>当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2 ）の委託者であり、次の業務を行ないません。</p> <p>受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成</p> <p style="text-align: right;">など</p>
運用指図	2	損益 信託金（ 3 ）
受託会社	<p>三井住友信託銀行株式会社</p> <p>再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行</p>	<p>信託契約（ 2 ）の受託者であり、次の業務を行ないません。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。</p> <p>委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算</p> <p style="text-align: right;">など</p>
		損益 投資
投資対象	投資対象ファンドの受益証券 など	

（注）「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、以下の4本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、四国企業の株式、地方創生企業の株式、海外のソブリン債等および先進国通貨建て債券に投資します。



< 委託会社の概況（2021年10月末日現在） >

・資本金の額 151億7,427万2,500円

・沿革

- 1959年12月12日 大和証券投資信託委託株式会社として設立
- 1960年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
- 1960年 4月 1日 営業開始
- 1985年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
- 1995年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
- 1995年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
- 2007年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。
(金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号)
- 2020年 4月 1日 大和アセットマネジメント株式会社に商号変更

・大株主の状況

名称	住所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

2【投資方針】

(1)【投資方針】

主要投資対象

次の受益証券（振替受益権を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。

イ．四国応援マザーファンドの受益証券

ロ．地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券

ハ．ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券

ニ．ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券

投資態度

- 1．主として、各投資対象ファンドの受益証券を通じて、わが国の株式および海外の債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
- 2．各主要投資対象ファンドの受益証券については、下記の組入比率を目処に投資を行ないます。

四国応援マザーファンドの受益証券.....	信託財産の純資産総額の25%
地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券信託財産の純資産総額の25%
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券.....	信託財産の純資産総額の25%
ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券.....	信託財産の純資産総額の25%
- 3．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

< 投資先ファンドについて >

投資先ファンドの選定の方針は次のとおりです。

投資先ファンドの名称	地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
選定の方針	主として、わが国の株式の中から地方創生に貢献する、または地方創生から恩恵を受けると考えられる企業（金融業を除く。）に投資することにより信託財産の成長をめざすファンドである。

くわしくは「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 < ファンドの特色 >」をご参照下さい。

(2) 【投資対象】

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

- 1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）
 - イ．有価証券
 - ロ．約束手形
 - ハ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの
- 2．次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として、大和アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1．から3．までに掲げる親投資信託の受益証券、次の4．に掲げる証券投資信託の受益証券（振替受益権を含みます。）、ならびに次の5．から7．までに

掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 四国応援マザーファンドの受益証券
2. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券
3. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンドの受益証券
4. 地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
5. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
6. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前5.の証券の性質を有するもの
7. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.から前4.までの受益証券を「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

前 の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、前 に掲げる金融商品により運用することを指図することができます。

<投資先ファンドについて>

ファンドの純資産総額の10%を超えて投資する可能性がある投資先ファンドの内容は次のとおりです。

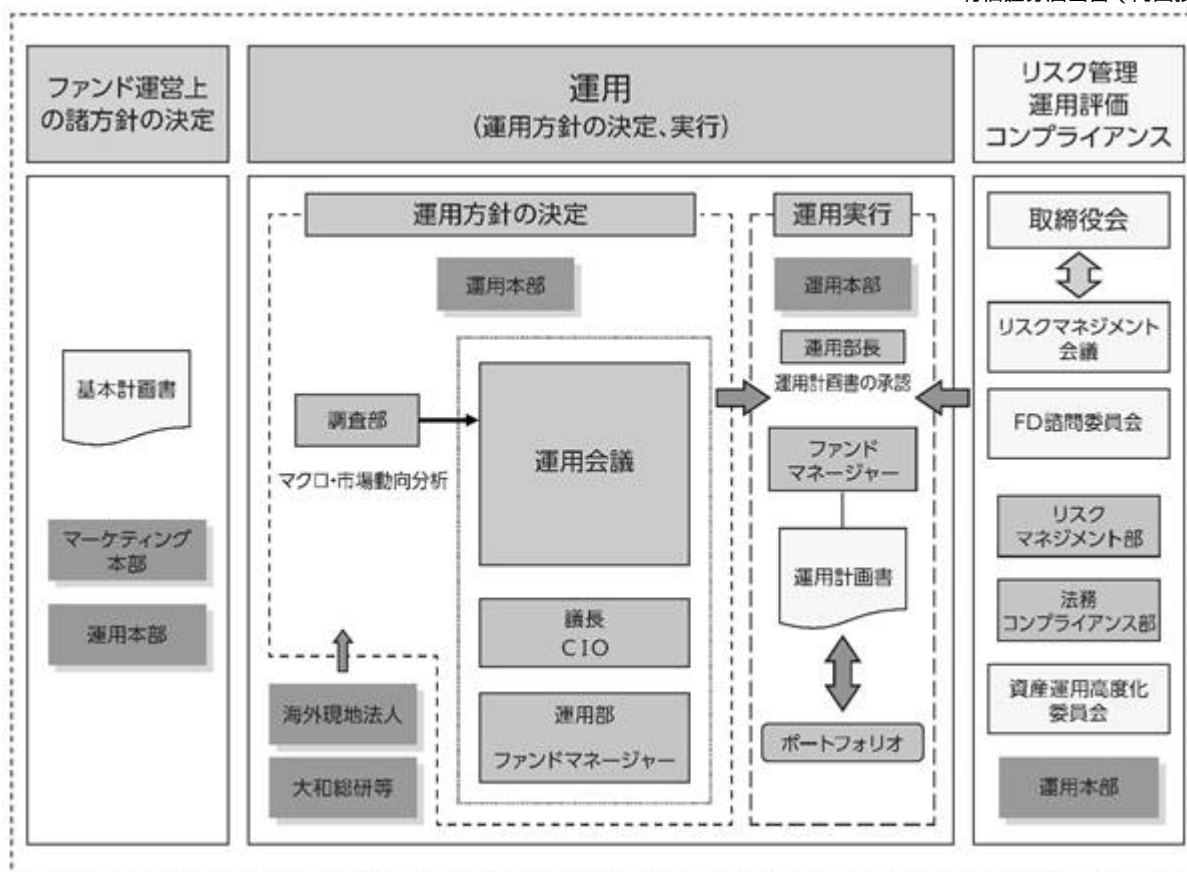
投資先ファンドの名称	地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）
運用の基本方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要な投資対象	地方創生マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、地方創生企業に投資します。
委託会社の名称	大和アセットマネジメント株式会社

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(3) 【運用体制】

運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を商品担当役員の決裁により決定します。

ロ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ハ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．CIO (Chief Investment Officer) (3名)

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・基本的な運用方針の決定
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．Deputy-CIO (0～5名程度)

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．インベストメント・オフィサー (0～5名程度)

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

二．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を決定します。

ホ．運用チームリーダー

ファンドの基本的な運用方針を策定します。

ヘ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

リスクマネジメント会議、FD諮問委員会および資産運用高度化委員会

次のとおり各会議体等において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体等の事務局となる部署の人員は45～55名程度です。

イ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ロ．FD諮問委員会

取締役会の諮問委員会として、ファンド組成・運用に関わる会議体等に対する牽制に資する事項について、取締役会に意見を述べます。

ハ．資産運用高度化委員会

資産運用高度化への取組みについて報告・検討し、必要事項を審議・決定します。

受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は2021年10月29日現在のものであり、変更となる場合があります。

(4)【分配方針】

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

(5)【投資制限】

株式（信託約款）

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券（信託約款）

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

信用リスク集中回避（信託約款）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則と

して、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

資金の借入れ（信託約款）

- イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。
- ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

< 参 考 > 投資対象ファンドについて

下記以外の項目（「基本方針」、「投資態度」、「運用管理費用（信託報酬）」等）については、「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 < ファンドの特色 >」をご参照下さい。

1. 四国応援マザーファンド

主な投資制限	<p>株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p>
収益分配方針	信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。
販売手数料	ありません。
償還条項	信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。

2. 地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

主な投資制限	<p>マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p>
収益分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>留保益は、上記「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。</p>
販売手数料	ありません。
償還条項	<p>受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

3. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

主な投資制限	<p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限りません。</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
収益分配方針	<p>信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。</p>
販売手数料	ありません。

償還条項	信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
------	---

4. ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

主な投資制限	<p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使等により取得したものに限ります。</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
収益分配方針	信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配は行ないません。
販売手数料	ありません。
償還条項	信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。

3【投資リスク】

(1) 価額変動リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、公社債など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドは時価総額が小さい企業の株式に投資することがあります。時価総額が小さい企業の株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。

公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

〈金利変動による価格変化のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなくなることが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります。）。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

外国証券への投資に伴うリスク

イ．為替リスク

〈為替変動のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

＜ファンドの特色＞1. の外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。そのため基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受け取ります。

＜ファンドの特色＞1. の外貨建ての資産については、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないません。ただし、影響をすべて排除できるわけではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります(信用リスク)。この場合、基準価額が下落する要因となります。

(2)換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受付を中止すること、すでに受付けたお買付けの申込みを取消すことがあります。

ご換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱います。

(3)その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

流動性リスクに関する事項

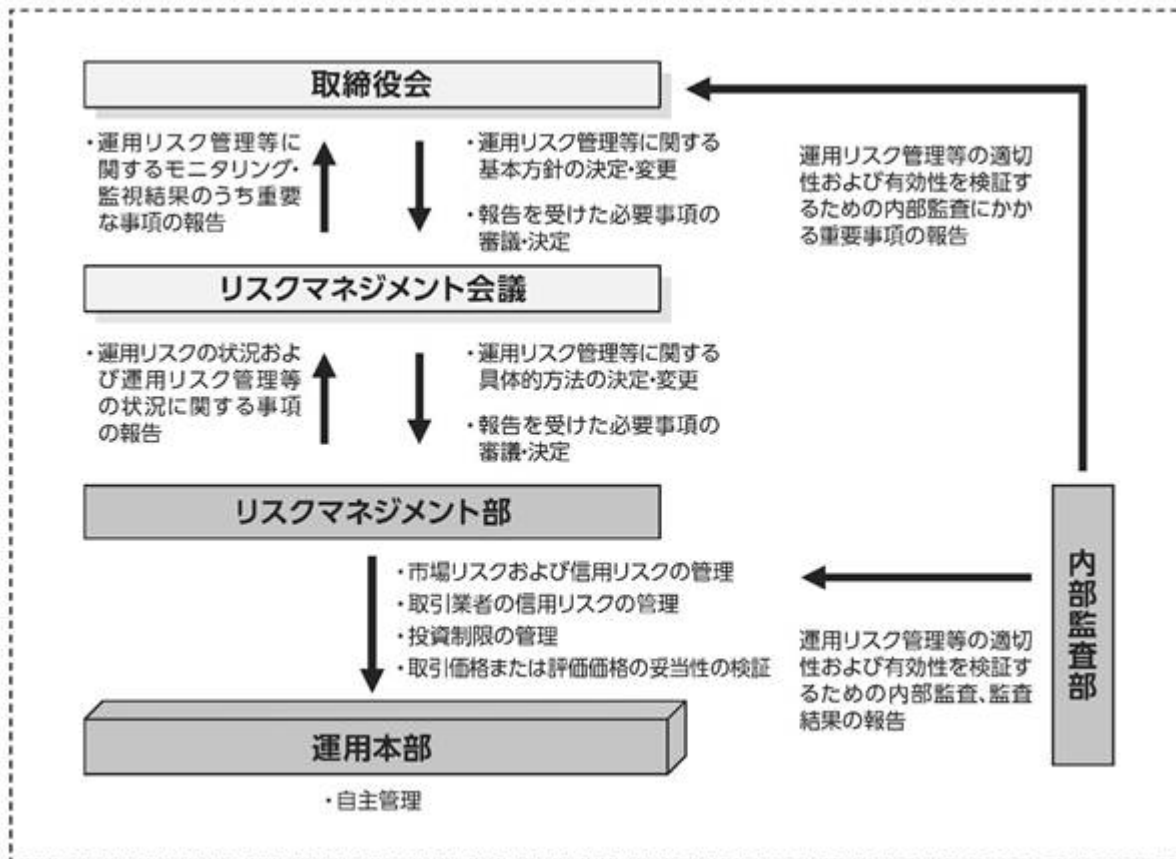
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

(4)リスク管理体制

<2021年12月31日まで>

運用リスク管理体制()は、以下のとおりとなっています。

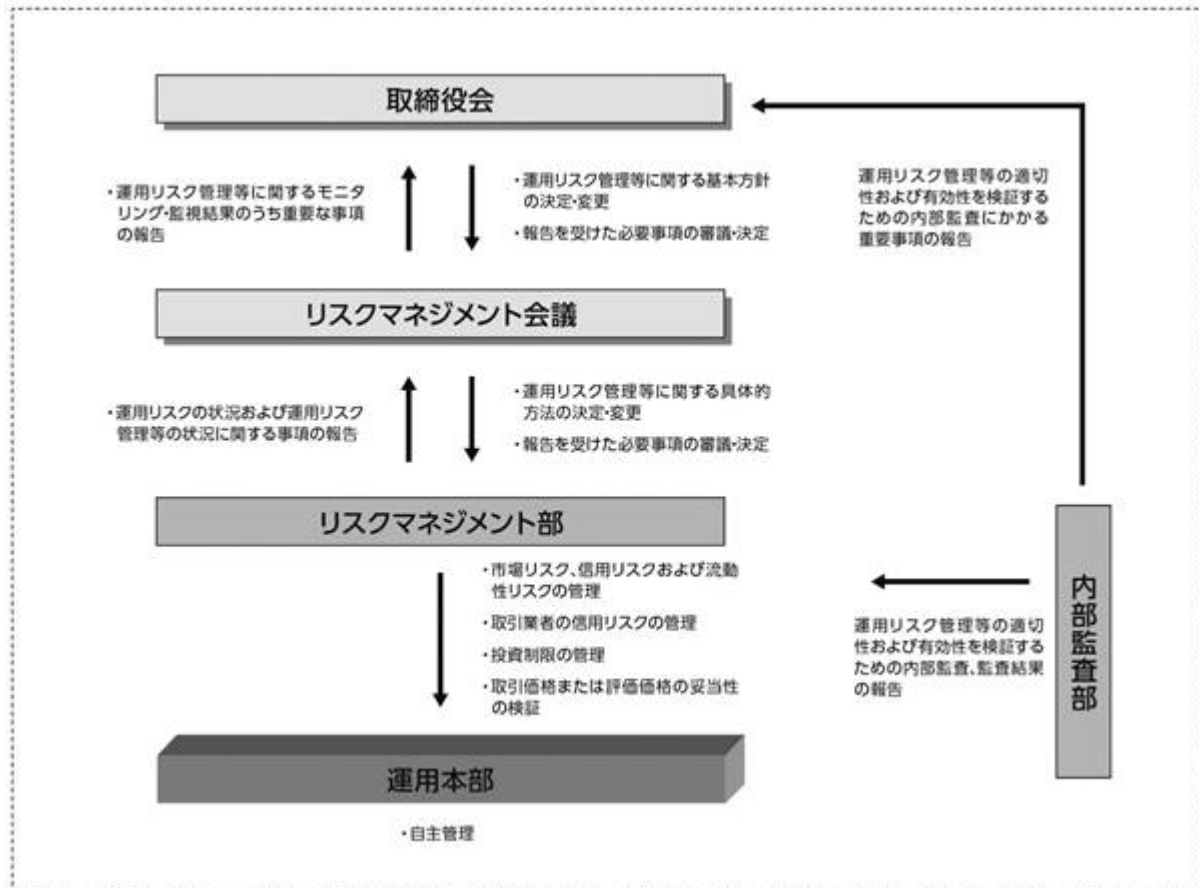


流動性リスクに対する管理体制

当社では、運用リスクのうち、大量の解約・換金によって必要となる資金の確保のために合理的な条件での取引が困難となるリスク、および市場の混乱、取引所における休業、取引の停止等により市場において取引ができないまたは合理的な条件での取引が困難となるリスクを「流動性リスク」とし、当社の運用する信託財産における流動性リスクの防止および流動性リスク発生時における円滑な事務遂行を目的とした事前対策、ならびに流動性リスク発生時における対応策（コンティンジェンシー・プラン）を定めています。

< 2022年1月1日から >

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。



流動性リスクに対する管理体制

- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行いません。
- ・ 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

参考情報

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円ベース)

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）となっています。

具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

(2) 【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.9955%（税抜0.905%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日（6か月終了日が休業日の場合には、翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、次のとおりです。

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.375% （税抜）	年率0.50% （税抜）	年率0.03% （税抜）

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から收受した後、販売会社に支払われます。

投資対象ファンドの信託報酬等については、「1 ファンドの性格 (1)ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」の<投資対象ファンドの概要>をご参照下さい。なお、当ファンドの信託報酬に投資対象ファンドの信託報酬を加えた、投資者が実質的に負担する信託報酬率は、年率1.14125%（税込）程度です。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

() 「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

<投資対象ファンドより支弁する手数料等>

各ファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。その他、マザーファンドを除く投資対象ファンドからは監査報酬を支弁します。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20% (所得税15%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) となります。

ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益 (解約価額および償還価額から取得費用 (申込手数料 (税込) を含む) を控除した利益) については、譲渡所得とみなされ、20% (所得税15%および地方税5%) の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) となります。

ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等 (特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。) の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：NISA (ニーサ) 」をご利用の場合

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA (ニーサ) 」の適用対象です。満20歳以上の方を対象としたNISAをご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります (他の口座で

生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。また、20歳未満の方を対象とした非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

<注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

個別元本について、詳しくは販売会社にお問合わせ下さい。

<注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

- () 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- () 上記は、2021年10月29日現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- () 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

(1)【投資状況】（2021年10月29日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	975,266,831	25.03
内 日本	975,266,831	25.03
親投資信託受益証券	2,889,729,305	74.17
内 日本	2,889,729,305	74.17
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	30,869,034	0.79
純資産総額	3,895,865,170	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2)【投資資産】（2021年10月29日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1 地方創生ファンド	日本	投資信託受益証券	790,521,870	1.2186 963,346,880	1.2337 975,266,831	25.03
2 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	506,282,189	1.8729 948,262,703	1.9196 971,859,290	24.95
3 ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	817,087,297	1.1831 966,698,386	1.1840 967,431,359	24.83
4 四国応援マザーファンド	日本	親投資信託受益証券	728,249,679	1.3616 991,587,231	1.3051 950,438,656	24.40

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
-----------	------

投資信託受益証券	25.03%
親投資信託受益証券	74.17%
合計	99.21%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2018年4月10日)	6,040,219,350	6,040,219,350	1.0476	1.0476
第2計算期間末 (2019年4月10日)	6,240,266,241	6,240,266,241	1.0117	1.0117
第3計算期間末 (2020年4月10日)	4,619,806,565	4,619,806,565	1.0036	1.0036
2020年10月末日	4,159,005,591	-	1.0986	-
11月末日	4,170,831,485	-	1.1400	-
12月末日	4,159,972,368	-	1.1625	-
2021年1月末日	4,141,610,070	-	1.1705	-
2月末日	3,961,638,338	-	1.1576	-
3月末日	4,132,452,467	-	1.1953	-
第4計算期間末 (2021年4月12日)	4,150,378,330	4,150,378,330	1.1956	1.1956
4月末日	4,074,623,317	-	1.1815	-
5月末日	4,062,865,659	-	1.1807	-
6月末日	4,090,409,835	-	1.1928	-
7月末日	4,053,614,735	-	1.1888	-
8月末日	4,041,339,310	-	1.1960	-

9月末日	3,968,142,567	-	1.2006	-
10月末日	3,895,865,170	-	1.1934	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
第4計算期間	0.0000
2021年4月13日～ 2021年10月12日	-

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	4.8
第2計算期間	3.4
第3計算期間	0.8
第4計算期間	19.1
2021年4月13日～ 2021年10月12日	1.0

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	4,228,367,794	2,737,763,130
第2計算期間	1,705,019,842	1,303,054,501
第3計算期間	926,598,849	2,491,355,294
第4計算期間	755,467,855	1,887,023,222
2021年4月13日～ 2021年10月12日	270,710,404	477,487,178

(注) 当初設定数量は4,275,252,461口です。

(参考) マザーファンド

四国応援マザーファンド

(1) 投資状況 (2021年10月29日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
---------	-------	---------

株式		1,189,627,340	98.73
	内 日本	1,189,627,340	98.73
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		15,277,185	1.27
純資産総額		1,204,904,525	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	9,962,500	0.83
	内 日本	9,962,500
		0.83

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(2) 投資資産 (2021年10月29日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ユニ・チャーム	日本	株式	化学	24,400	4,583.53 111,838,280	4,592.00 112,044,800	9.30
2	三浦工業	日本	株式	機械	24,700	5,743.24 141,858,181	4,365.00 107,815,500	8.95
3	富士通	日本	株式	電気機器	5,200	16,540.00 86,008,000	19,625.00 102,050,000	8.47
4	ジャストシステム	日本	株式	情報・通信業	16,400	6,211.34 101,866,020	5,860.00 96,104,000	7.98
5	大王製紙	日本	株式	パルプ・紙	43,100	1,895.45 81,694,214	1,999.00 86,156,900	7.15
6	三菱電機	日本	株式	電気機器	54,700	1,664.03 91,022,459	1,525.00 83,417,500	6.92
7	大塚ホールディングス	日本	株式	医薬品	14,200	4,533.56 64,376,615	4,494.00 63,814,800	5.30
8	イオン	日本	株式	小売業	22,200	3,073.87 68,240,062	2,618.00 58,119,600	4.82

9	四国電力	日本	株式	電気・ガス業	56,900	834.20 47,466,056	742.00 42,219,800	3.50
10	タダノ	日本	株式	機械	33,000	1,179.83 38,934,438	1,241.00 40,953,000	3.40
11	住友鉱山	日本	株式	非鉄金属	7,400	4,775.74 35,340,537	4,423.00 32,730,200	2.72
12	技研製作所	日本	株式	機械	7,200	4,799.83 34,558,810	4,340.00 31,248,000	2.59
13	東レ	日本	株式	繊維製品	41,600	688.82 28,655,104	708.90 29,490,240	2.45
14	住友化学	日本	株式	化学	42,200	561.20 23,683,001	560.00 23,632,000	1.96
15	フジ	日本	株式	小売業	9,800	2,089.28 20,474,977	2,005.00 19,649,000	1.63
16	四国化成	日本	株式	化学	14,000	1,335.05 18,690,824	1,398.00 19,572,000	1.62
17	大日本住友製薬	日本	株式	医薬品	10,100	1,895.37 19,143,267	1,607.00 16,230,700	1.35
18	王子ホールディングス	日本	株式	パルプ・紙	25,900	718.87 18,618,743	564.00 14,607,600	1.21
19	NIPPO	日本	株式	建設業	3,000	3,039.64 9,118,938	4,025.00 12,075,000	1.00
20	井関農機	日本	株式	機械	5,900	1,665.04 9,823,747	1,642.00 9,687,800	0.80
21	クラレ	日本	株式	化学	9,000	1,219.73 10,977,596	1,030.00 9,270,000	0.77
22	ニッポン高度紙工業	日本	株式	パルプ・紙	2,800	3,072.21 8,602,192	3,275.00 9,170,000	0.76
23	住友重機械	日本	株式	機械	3,100	3,225.00 9,997,500	2,930.00 9,083,000	0.75
24	ジェイテクト	日本	株式	機械	8,700	1,118.64 9,732,192	1,003.00 8,726,100	0.72
25	帝人	日本	株式	繊維製品	5,000	1,597.33 7,986,661	1,529.00 7,645,000	0.63
26	アオイ電子	日本	株式	電気機器	3,100	2,395.64 7,426,501	2,458.00 7,619,800	0.63
27	三菱マテリアル	日本	株式	非鉄金属	3,400	2,530.62 8,604,117	2,206.00 7,500,400	0.62

28	太平洋セメント	日本	株式	ガラス・ 土石製 品	3,100	2,801.40 8,684,372	2,411.00 7,474,100	0.62
29	電源開発	日本	株式	電気・ガ ス業	4,700	1,861.03 8,746,869	1,502.00 7,059,400	0.59
30	四電工	日本	株式	建設業	4,100	1,481.16 6,072,783	1,698.00 6,961,800	0.58

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	98.73%
合計	98.73%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
水産・農林業	0.15%
鉱業	0.11%
建設業	2.14%
食料品	0.13%
繊維製品	3.16%
パルプ・紙	9.62%
化学	15.50%
医薬品	6.64%
ゴム製品	0.31%
ガラス・土石製品	1.11%
鉄鋼	0.63%
非鉄金属	3.34%
機械	17.57%
電気機器	16.49%
輸送用機器	0.14%
その他製品	1.29%
電気・ガス業	4.09%
情報・通信業	8.58%
卸売業	0.49%
小売業	6.72%
不動産業	0.50%
サービス業	0.03%

合計	98.73%
----	--------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
株価指数先物 取引	日本	ミニTPX先物 031 2月	買建	5	10,218,550	9,962,500	0.83%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(参考) 投資信託証券

地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

(1) 投資状況（2021年10月29日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	1,236,012,780	99.90
内 日本	1,236,012,780	99.90
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,235,417	0.10
純資産総額	1,237,248,197	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（2021年10月29日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
-----	----	----	--------------------------	-------------------	-------------------	-----------------

1	地方創生マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	691,359,649	1.8272 1,263,280,407	1.7878 1,236,012,780	99.90
---	-------------	----	-------------------	-------------	-------------------------	-------------------------	-------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.90%
合計	99.90%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報 マザーファンド

地方創生マザーファンド

(1) 投資状況 (2021年10月29日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	2,622,365,500	95.85
内 日本	2,622,365,500	95.85
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	113,677,027	4.15
純資産総額	2,736,042,527	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2021年10月29日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ウエストホールディングス	日本	株式	建設業	10,400	3,336.74 34,702,135	6,340.00 65,936,000	2.41
2	ダイセキ	日本	株式	サービス業	10,900	3,480.18 37,934,001	5,310.00 57,879,000	2.12
3	BEENOS	日本	株式	小売業	14,700	2,865.34 42,120,569	3,305.00 48,583,500	1.78
4	デクセリアルズ	日本	株式	化学	20,400	2,067.74 42,181,913	2,298.00 46,879,200	1.71
5	イビデン	日本	株式	電気機器	6,800	5,212.80 35,447,106	6,810.00 46,308,000	1.69
6	セーレン	日本	株式	繊維製品	18,900	2,007.50 37,941,909	2,294.00 43,356,600	1.58
7	物語コーポレーション	日本	株式	小売業	6,000	6,784.47 40,706,864	7,090.00 42,540,000	1.55
8	EIZO	日本	株式	電気機器	9,200	4,276.14 39,340,578	4,350.00 40,020,000	1.46
9	前田工織	日本	株式	その他製品	11,800	3,326.71 39,255,253	3,295.00 38,881,000	1.42
10	大阪有機化学	日本	株式	化学	10,400	3,470.00 36,088,000	3,405.00 35,412,000	1.29
11	新光電気工業	日本	株式	電気機器	7,200	3,225.00 23,220,000	4,560.00 32,832,000	1.20
12	東洋炭素	日本	株式	ガラス・土石製品	10,300	2,853.10 29,387,012	3,095.00 31,878,500	1.17
13	扶桑化学工業	日本	株式	化学	6,000	3,930.00 23,580,000	5,220.00 31,320,000	1.14
14	丸井グループ	日本	株式	小売業	13,600	1,973.23 26,835,938	2,229.00 30,314,400	1.11
15	SBSホールディングス	日本	株式	陸運業	7,500	3,135.14 23,513,597	4,035.00 30,262,500	1.11
16	栗田工業	日本	株式	機械	5,400	4,630.00 25,002,000	5,600.00 30,240,000	1.11
17	シグマクシス・ホールディング	日本	株式	サービス業	10,800	1,805.00 19,494,000	2,740.00 29,592,000	1.08

18	ディップ	日本	株式	サービス業	7,200	2,801.00 20,167,200	4,090.00 29,448,000	1.08
19	太平洋工業	日本	株式	輸送用機器	25,100	1,274.29 31,984,734	1,157.00 29,040,700	1.06
20	武蔵精密工業	日本	株式	輸送用機器	13,500	2,223.93 30,023,147	2,134.00 28,809,000	1.05
21	NECネットエスアイ	日本	株式	情報・通信業	15,400	1,992.12 30,678,719	1,829.00 28,166,600	1.03
22	ダイワボウHD	日本	株式	卸売業	13,500	1,786.00 24,111,000	1,999.00 26,986,500	0.99
23	フジシールインターナショナル	日本	株式	その他製品	10,500	2,454.00 25,767,000	2,497.00 26,218,500	0.96
24	コスモス薬品	日本	株式	小売業	1,500	16,312.23 24,468,351	17,370.00 26,055,000	0.95
25	良品計画	日本	株式	小売業	11,200	2,197.80 24,615,375	2,238.00 25,065,600	0.92
26	ニトリホールディングス	日本	株式	小売業	1,200	20,311.37 24,373,655	20,855.00 25,026,000	0.91
27	日本製鋼所	日本	株式	機械	7,400	2,521.00 18,655,400	3,335.00 24,679,000	0.90
28	スター精密	日本	株式	機械	16,400	1,629.52 26,724,177	1,491.00 24,452,400	0.89
29	エフピコ	日本	株式	化学	6,300	4,350.00 27,405,000	3,865.00 24,349,500	0.89
30	四国化成	日本	株式	化学	17,100	1,250.00 21,375,000	1,398.00 23,905,800	0.87

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	95.85%
合計	95.85%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
建設業	3.60%
食料品	0.72%
繊維製品	4.71%

パルプ・紙	1.12%
化学	9.59%
医薬品	2.10%
ガラス・土石製品	2.93%
非鉄金属	0.45%
金属製品	1.00%
機械	9.50%
電気機器	8.07%
輸送用機器	2.11%
その他製品	4.81%
陸運業	2.96%
倉庫・運輸関連業	0.45%
情報・通信業	7.81%
卸売業	4.48%
小売業	15.72%
不動産業	3.18%
サービス業	10.55%
合計	95.85%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

(1) 投資状況（2021年10月29日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	18,909,965,164	93.10
内 ユーロ	4,987,993,043	24.56
内 ノルウェー	283,099,872	1.39
内 スウェーデン	386,580,567	1.90
内 デンマーク	565,474,042	2.78

	内 イギリス	2,546,679,029	12.54
	内 ポーランド	1,159,171,416	5.71
	内 カナダ	1,722,393,154	8.48
	内 アメリカ	4,722,351,044	23.25
	内 オーストラリア	2,536,222,997	12.49
特殊債券		1,010,183,554	4.97
	内 カナダ	1,010,183,554	4.97
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		390,534,128	1.92
純資産総額		20,310,682,846	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(買建)	277,736,583	1.37
内 日本	277,736,583	1.37
為替予約取引(売建)	278,883,570	1.37
内 日本	278,883,570	1.37

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産 (2021年10月29日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	27,183,400	94.24 2,912,018,500	94.46 2,918,754,563	0.875000 2030/11/15	14.37
2	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オースト ラリア	国債 証券	19,000,000	129.43 2,104,949,961	126.92 2,064,132,090	4.500000 2033/04/21	10.16
3	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	13,998,800	105.94 1,685,763,465	105.30 1,675,579,506	2.250000 2027/08/15	8.25
4	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	9,136,000	109.14 1,323,962,875	108.50 1,316,139,110	1.400000 2028/04/30	6.48

5	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	8,660,000	110.28 1,268,009,422	109.60 1,260,167,867	1.950000 2026/04/30	6.20
6	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	4,750,400	154.47 974,258,676	157.20 991,521,224	3.250000 2045/05/25	4.88
7	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	11,046,000	90.87 923,009,084	90.59 920,165,181	0.500000 2030/12/01	4.53
8	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊 債券	7,830,000	104.02 748,932,832	102.98 741,430,760	2.250000 2025/12/15	3.65
9	Poland Government Bond	ポーランド	国債 証券	25,000,000	104.08 746,942,583	101.54 728,714,844	2.750000 2028/04/25	3.59
10	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	4,320,000	103.83 703,353,369	103.95 704,166,220	1.500000 2026/07/22	3.47
11	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	3,315,900	114.83 597,049,599	114.58 595,749,766	5.000000 2025/03/07	2.93
12	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	3,200,000	105.07 527,244,390	105.75 530,646,323	1.625000 2028/10/22	2.61
13	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	3,095,700	91.79 445,587,924	93.18 452,339,918	0.250000 2031/07/31	2.23
14	IRISH TREASURY	ユーロ	国債 証券	3,172,000	106.75 449,603,304	106.14 447,004,831	1.000000 2026/05/15	2.20
15	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	4,743,000	101.63 443,253,754	100.63 438,896,927	1.500000 2026/06/01	2.16
16	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債 証券	20,200,000	109.09 393,345,813	108.64 391,737,670	1.750000 2025/11/15	1.93
17	IRISH TREASURY	ユーロ	国債 証券	2,387,600	108.92 345,281,368	108.19 342,992,616	1.100000 2029/05/15	1.69
18	Belgium Government Bond	ユーロ	国債 証券	1,500,000	164.32 327,255,479	167.32 333,240,086	3.750000 2045/06/22	1.64
19	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	ノルウェー	国債 証券	20,000,000	104.36 284,290,260	103.92 283,099,872	3.000000 2024/03/14	1.39
20	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債 証券	2,900,000	113.79 282,446,743	111.19 275,995,739	3.250000 2029/04/21	1.36

21	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊債券	2,815,000	104.92 271,589,671	103.83 268,752,793	2.550000 2025/03/15	1.32
22	United Kingdom Gilt	イギリス	国債証券	1,000,000	157.20 246,492,736	168.22 263,776,800	4.250000 2046/12/07	1.30
23	Poland Government Bond	ポーランド	国債証券	8,000,000	91.42 209,949,101	88.32 202,830,236	1.250000 2030/10/25	1.00
24	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェーデン	国債証券	14,230,000	105.01 199,497,520	104.49 198,513,473	1.000000 2026/11/12	0.98
25	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債証券	1,957,000	120.11 201,198,880	117.07 196,095,166	4.750000 2027/04/21	0.97
26	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェーデン	国債証券	13,630,000	103.79 188,860,442	103.35 188,067,094	1.500000 2023/11/13	0.93
27	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	1,700,000	115.56 180,640,740	117.34 183,434,089	2.750000 2048/12/01	0.90
28	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債証券	1,500,000	127.84 176,334,354	130.43 179,896,956	3.500000 2045/12/01	0.89
29	DANISH GOVERNMENT BOND	デンマーク	国債証券	5,500,000	173.75 170,586,916	176.96 173,736,370	4.500000 2039/11/15	0.86
30	Poland Government Bond	ポーランド	国債証券	6,000,000	97.02 167,106,739	95.67 164,788,515	0.750000 2025/04/25	0.81

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	93.10%
特殊債券	4.97%
合計	98.08%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	豪ドル買/円売 2021年11月	買建	1,703,464	145,255,000	145,779,587	0.72%
		米ドル買/円売 2021年11月	買建	1,161,212	132,050,000	131,956,996	0.65%
		ユーロ売/円買 2021年11月	売建	2,100,000	277,305,000	278,883,570	1.37%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

(1) 投資状況 (2021年10月29日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	53,796,550,140	69.27
内 ユーロ	26,958,137,277	34.71
内 イギリス	2,005,324,608	2.58
内 ポーランド	1,014,151,183	1.31
内 カナダ	3,141,218,428	4.04
内 アメリカ	18,224,268,830	23.47
内 メキシコ	2,453,449,814	3.16
地方債証券	11,004,029,818	14.17
内 カナダ	11,004,029,818	14.17
特殊債券	1,789,571,424	2.30
内 ユーロ	1,387,253,984	1.79
内 イギリス	402,317,440	0.52
社債券	9,123,508,958	11.75
内 ユーロ	178,186,900	0.23
内 スウェーデン	823,067,550	1.06

	内 イギリス	498,331,725	0.64
	内 アメリカ	4,917,762,386	6.33
	内 オーストラリア	2,706,160,397	3.48
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		1,951,655,585	2.51
純資産総額		77,665,315,925	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類		時価(円)	投資比率(%)
債券先物取引(売建)		1,634,858,775	2.11
	内 アメリカ	1,634,858,775	2.11
為替予約取引(売建)		76,849,310,320	98.95
	内 日本	76,849,310,320	98.95

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 債券先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注4) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産 (2021年10月29日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	55,000,000	98.91 6,183,704,835	97.51 6,096,241,453	0.500000 2026/02/28	7.85
2	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	37,300,000	121.21 6,003,001,971	118.53 5,870,233,697	4.500000 2026/03/01	7.56
3	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	39,500,000	112.75 5,913,445,021	110.81 5,811,703,370	3.750000 2024/09/01	7.48
4	Province of Quebec Canada	カナダ	地方 債証 券	50,000,000	100.18 4,605,867,450	98.23 4,516,446,075	1.900000 2030/09/01	5.82
5	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	35,000,000	98.54 3,920,444,199	97.18 3,866,377,063	0.375000 2025/12/31	4.98

6	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	27,000,000	108.74 3,898,100,646	106.50 3,817,980,589	1.650000 2030/12/01	4.92
7	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	32,000,000	101.14 3,679,052,313	100.66 3,661,447,104	1.625000 2031/05/15	4.71
8	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	34,500,000	99.28 3,149,688,402	99.02 3,141,218,427	0.500000 2023/11/01	4.04
9	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	17,000,000	102.64 2,316,835,172	100.71 2,273,160,480	0.950000 2030/08/01	2.93
10	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	19,000,000	97.54 2,106,665,026	98.44 2,126,232,587	1.875000 2041/02/15	2.74
11	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	17,900,000	95.93 1,952,059,737	100.76 2,050,177,013	2.000000 2050/02/15	2.64
12	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	ユーロ	国債 証券	13,000,000	112.98 1,950,063,358	110.86 1,913,575,506	4.500000 2024/03/01	2.46
13	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方 債証 券	20,000,000	94.90 1,745,211,000	97.22 1,788,041,310	2.550000 2052/12/02	2.30
14	Mexican Bonos	メキシコ	国債 証券	260,000,000	110.57 1,602,281,572	105.90 1,534,668,346	8.500000 2029/05/31	1.98
15	BRITISH COLUMBIA	カナダ	地方 債証 券	15,000,000	104.52 1,441,592,100	106.81 1,473,190,717	2.950000 2050/06/18	1.90
16	European Union	ユーロ	特殊 債券	10,500,000	99.14 1,382,109,809	99.51 1,387,253,983	- 2031/07/04	1.79
17	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	10,000,000	99.08 1,315,598,014	98.60 1,309,138,754	0.500000 2040/05/25	1.69
18	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	7,000,000	135.95 1,263,577,400	134.54 1,250,410,599	7.250000 2026/11/01	1.61
19	ONTARIO PROVINCE	カナダ	地方 債証 券	12,000,000	108.82 1,200,730,914	105.98 1,169,449,524	2.900000 2028/06/02	1.51
20	BRITISH COLUMBIA	カナダ	地方 債証 券	13,000,000	96.76 1,156,715,368	94.60 1,130,896,728	1.550000 2031/06/18	1.46

21	United Kingdom Gilt	イギリス	国債証券	8,000,000	84.09 1,054,910,416	88.46 1,109,730,048	0.625000 2050/10/22	1.43
22	Poland Government Bond	ポーランド	国債証券	40,000,000	95.94 1,101,609,881	88.32 1,014,151,183	1.250000 2030/10/25	1.31
23	United Kingdom Gilt	イギリス	国債証券	6,000,000	96.42 907,166,400	95.19 895,594,560	0.375000 2030/10/22	1.15
24	Lansforsakringar Hypotek AB	スウェーデン	社債券	60,000,000	104.33 835,739,370	102.75 823,067,550	1.250000 2025/09/17	1.06
25	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	6,000,000	94.95 756,438,487	98.07 781,245,234	0.750000 2052/05/25	1.01
26	NETHERLANDS GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	3,500,000	160.86 747,526,964	163.58 760,175,962	2.750000 2047/01/15	0.98
27	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	5,500,000	102.20 746,314,774	101.59 741,896,852	0.500000 2030/04/30	0.96
28	Mexican Bonos	メキシコ	国債証券	120,000,000	101.76 680,572,119	101.42 678,353,094	7.750000 2031/05/29	0.87
29	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	3,000,000	166.05 661,405,704	167.48 667,109,503	4.700000 2041/07/30	0.86
30	ITALIAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債証券	4,000,000	107.77 572,376,780	106.39 565,058,498	1.850000 2025/07/01	0.73

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	69.27%
地方債証券	14.17%
特殊債券	2.30%
社債券	11.75%
合計	97.49%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
債券先物取引	アメリカ	US 10YR NOTE (CBT) 202112	売建	110	1,631,693,463	1,634,858,775	2.11%
為替予約取引	日本	ポーランド・ズロチ売/ 円買 2022年1月	売建	39,500,000	1,106,272,155	1,130,754,650	1.46%
		カナダ・ドル売/円買 2022年1月	売建	156,000,000	13,826,482,800	14,331,018,000	18.45%
		米ドル売/円買 2022年1 月	売建	206,000,000	23,000,064,500	23,389,363,600	30.12%
		豪ドル売/円買 2022年1 月	売建	33,500,000	2,717,267,075	2,864,769,250	3.69%
		ユーロ売/円買 2022年1 月	売建	217,700,000	28,228,045,630	28,926,713,340	37.25%
		スウェーデン・クローネ 売/円買 2022年1月	売建	63,500,000	809,675,800	847,725,000	1.09%
		英ポンド売/円買 2022年 1月	売建	18,000,000	2,735,049,600	2,819,809,800	3.63%
		メキシコ・ペソ売/円買 2022年1月	売建	461,900,000	2,486,361,077	2,539,156,680	3.27%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 債券先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算
値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近
い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注4) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

(参考情報) 運用実績

● 四国アライアンス 地域創生ファンド(年1回決算型)

2021年10月29日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	11,934円
純資産総額	38億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.6%
3カ月間	0.4%
6カ月間	1.0%
1年間	8.6%
3年間	20.1%
5年間	-
設定来	19.3%



※上記の「基準価額の騰落率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

決算期	直近1年間分配金合計額: 0円				設定来分配金合計額: 0円			
	第1期 18年4月	第2期 19年4月	第3期 20年4月	第4期 21年4月				
分配金	0円	0円	0円	0円				

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄(除く債券)	東証33業種名	比率
外国債券	125	48.7%	日本円	75.2%	直接利回り(%)	ユニ・チャーム	化学	2.3%
国内株式	221	48.0%	米ドル	6.1%	最終利回り(%)	三浦工業	機械	2.2%
外国債券 先物	1	-0.5%	ユーロ	5.9%	修正デュレーション	富士通	電気機器	2.1%
国内株式 先物	1	0.2%	カナダ・ドル	3.4%	残存年数	ジャストシステム	情報・通信業	1.9%
			豪ドル	3.3%	債券格付別構成 比率	大王製紙	パルプ・紙	1.7%
			英ポンド	3.2%	AAA	三菱電機	電気機器	1.7%
			ポーランド・ズロチ	1.4%	AA	大塚ホールディングス	医薬品	1.3%
			デンマーク・クローネ	0.7%	A	イオン	小売業	1.2%
			スウェーデン・クローネ	0.5%	BBB	四国電力	電気・ガス	0.9%
コール・ローン、その他	3.3%		その他	0.4%	BB	タダノ	機械	0.8%
合計	348	-	合計	100.0%	合計	合計	合計	16.0%

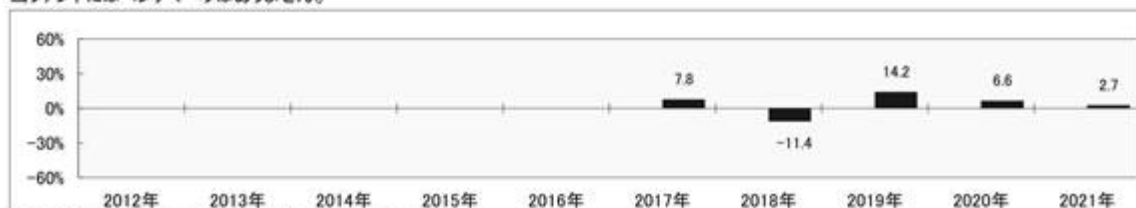
※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計額を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2017年は設定日(7月28日)から年末、2021年は10月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、ユーレックス・ドイツにおけるドイツ国債先物取引またはICEフューチャーズ・ヨーロッパにおけるイギリス国債先物取引のいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行ないません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

継続申込期間においては、委託会社の各営業日の午後3時までに受け付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受け付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、信託契約締結日に生じた受益権については信託契約締結時に、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

2【換金（解約）手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までには受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

<一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行、シカゴ商品取引所における米国債先物取引、ユーレックス・ドイツにおけるドイツ国債先物取引またはICEフューチャーズ・ヨーロッパにおけるイギリス国債先物取引のいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約請求の受け付けを中止することができます。

一部解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。

受託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。受託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注1、注2）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

(注1) 当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）の受益証券：計算日の前営業日の基準価額で評価します。
- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

(注2) マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・海外の公社債：原則として、次に掲げるいずれかの価額で評価します。
 1. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）
 2. 価格情報会社の提供する価額
- ・わが国の金融商品取引所上場株式：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

2017年7月28日から2027年4月9日までとします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

(4)【計算期間】

毎年4月11日から翌年4月10日までとします。ただし、第1計算期間は、2017年7月28日から2018年4月10日までとし、最終計算期間は、2026年4月11日から2027年4月9日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

(5)【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 前2.から前4.までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前2.から前4.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
6. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
7. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
8. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1.から7.までに定める以外の方法によって変更することができないものとし、
2. 委託会社は、前1.の事項（前1.の変更事項にあつては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前1.の併合事項にあつては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同

じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託約款にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

4. 前2. の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2. から前5. までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1. から前6. までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1. から前7. までの規定にしたがいます。

反対受益者の受益権買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書)を計算期間の末日ごとに作成し、信託財産にかかる知れている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書(全体版)(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書)を作成し、委託会社のホームページに掲載します。
 - ・委託会社のホームページ
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>
3. 前2. の規定にかかわらず、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。
<https://www.daiwa-am.co.jp/>
2. 前1. の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月(または3か月)前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

4【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金(分配金額は、委託会社が決定します。)および償還金(信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。)を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、)に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金(解約)手続等」をご参照下さい。

第3 【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期計算期間（2020年4月11日から2021年4月12日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 【財務諸表】

【財務諸表】

四国アライアンス 地域創生ファンド(年1回決算型)

(1)【貸借対照表】

(単位:円)

	第3期 2020年4月10日現在	第4期 2021年4月12日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	62,344,174	68,333,383
投資信託受益証券	1,162,976,544	1,033,312,656
親投資信託受益証券	3,420,994,102	3,084,366,283
未収入金	5,451,000	7,902,000
流動資産合計	4,651,765,820	4,193,914,322
資産合計	4,651,765,820	4,193,914,322
負債の部		
流動負債		
未払解約金	5,307,509	22,759,686
未払受託者報酬	876,175	682,948
未払委託者報酬	25,556,588	19,920,709
その他未払費用	218,983	172,649
流動負債合計	31,959,255	43,535,992
負債合計	31,959,255	43,535,992
純資産の部		
元本等		
元本	1 4,603,066,021	1 3,471,510,654
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	16,740,544	678,867,676
(分配準備積立金)	133,715,746	548,108,249
元本等合計	4,619,806,565	4,150,378,330
純資産合計	4,619,806,565	4,150,378,330
負債純資産合計	4,651,765,820	4,193,914,322

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第3期		第4期	
	自 2019年4月11日 至 2020年4月10日		自 2020年4月11日 至 2021年4月12日	
営業収益				
受取配当金		-		44,851,845
受取利息		190		175
有価証券売買等損益		117,989,264		788,700,293
営業収益合計		117,989,454		833,552,313
営業費用				
支払利息		31,080		16,369
受託者報酬		1,874,991		1,458,781
委託者報酬		54,690,109		42,550,301
その他費用		473,438		365,052
営業費用合計		57,069,618		44,390,503
営業利益		60,919,836		789,161,810
経常利益		60,919,836		789,161,810
当期純利益		60,919,836		789,161,810
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額		101,137,302		202,674,783
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		72,443,775		16,740,544
剰余金増加額又は欠損金減少額		11,632,543		94,276,768
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		11,632,543		94,276,768
剰余金減少額又は欠損金増加額		27,118,308		18,636,663
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		27,118,308		18,636,663
分配金		1 -		1 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		16,740,544		678,867,676

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第4期	
	自 2020年4月11日	至 2021年4月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額を計上しております。</p>	
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>計算期間末日</p> <p>2021年4月10日及びその翌日が休日のため、当計算期間末日を2021年4月12日としております。このため、当計算期間は367日となっております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第3期	第4期
	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1. 1 期首元本額	6,167,822,466円	4,603,066,021円
期中追加設定元本額	926,598,849円	755,467,855円
期中一部解約元本額	2,491,355,294円	1,887,023,222円

2. 計算期間末日における受益権の総数	4,603,066,021口	3,471,510,654口
---------------------	----------------	----------------

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第3期	第4期
	自 2019年4月11日 至 2020年4月10日	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(18,829,976円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(63,609,791円)及び分配準備積立金(114,885,770円)より分配対象額は197,325,537円(1万口当たり428.68円)であり、分配を行っておりません。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(87,641,466円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(377,637,212円)、投資信託約款に規定される収益調整金(130,759,427円)及び分配準備積立金(82,829,571円)より分配対象額は678,867,676円(1万口当たり1,955.54円)であり、分配を行っておりません。</p>

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	第4期
	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第4期 2021年4月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第3期 2020年4月10日現在	第4期 2021年4月12日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	91,001,200	253,139,933
親投資信託受益証券	89,131,821	318,510,534
合計	1,869,379	571,650,467

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第3期 2020年4月10日現在	第4期 2021年4月12日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

<p>第4期</p> <p>自 2020年4月11日</p> <p>至 2021年4月12日</p>
<p>市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。</p>

(1口当たり情報)

	第3期 2020年4月10日現在	第4期 2021年4月12日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0036円 (10,036円)	1.1956円 (11,956円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	地方創生ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	847,116,459	1,033,312,656	
投資信託受益証券 合計			1,033,312,656	
親投資信託受益証券	ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド	872,686,646	1,032,213,764	
	四国応援マザーファンド	747,051,832	1,019,128,109	
	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	551,711,392	1,033,024,410	
親投資信託受益証券 合計			3,084,366,283	
合計			4,117,678,939	

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、「地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「四国応援マザーファンド」受益証券、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券及び「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「四国応援マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	15,887,909	5,049,054
株式	2 1,694,625,580	1,294,236,950
派生商品評価勘定	2,330,850	380,700
未収配当金	14,457,650	8,710,770
流動資産合計	1,727,301,989	1,308,377,474
資産合計	1,727,301,989	1,308,377,474
負債の部		
流動負債		
前受金	2,445,000	386,250
未払解約金	5,451,000	450,000
その他未払費用	15	5
流動負債合計	7,896,015	836,255
負債合計	7,896,015	836,255
純資産の部		
元本等		
元本	1 1,666,647,278	958,483,145
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	52,758,696	349,058,074
元本等合計	1,719,405,974	1,307,541,219
純資産合計	1,719,405,974	1,307,541,219

負債純資産合計	1,727,301,989	1,308,377,474
---------	---------------	---------------

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1. 1 期首	2019年4月11日	2020年4月11日
期首元本額	2,177,915,079円	1,666,647,278円
期中追加設定元本額	406,520,817円	99,021,969円
期中一部解約元本額	917,788,618円	807,186,102円
期末元本額の内訳 ファンド名		

	四国アライアンス 地域創生 ファンド（年1回決算型）	1,213,732,998円	747,051,832円
	四国アライアンス 地域創生 ファンド（年2回決算型）	452,914,280円	211,431,313円
計		1,666,647,278円	958,483,145円
2.	期末日における受益権の総数	1,666,647,278口	958,483,145口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠 金代用有価証券として以下の とおり差入を行っております。 株式 22,951,500円	先物取引に係る差入委託証拠 金代用有価証券として以下の とおり差入を行っております。 株式 26,739,500円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における株価指数先物取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年4月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
株式	9,189,378	277,205,961
合計	9,189,378	277,205,961

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2019年4月11日から2020年4月10日まで、及び2020年4月11日から2021年4月12日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	2020年4月10日 現在				2021年4月12日 現在			
	契約額等		時価 （円）	評価損益 （円）	契約額等		時価 （円）	評価損益 （円）
	（円）	うち 1年超			（円）	うち 1年超		
市場取引								
株価指数								
先物取引								

買建	18,930,000	-	21,262,500	2,332,500	9,413,750	-	9,795,000	381,250
合計	18,930,000	-	21,262,500	2,332,500	9,413,750	-	9,795,000	381,250

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1口当たり純資産額	1.0317円	1.3642円
(1万口当たり純資産額)	(10,317円)	(13,642円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額(円)		備考
		単価	金額	
ホクト	900	2,042.00	1,837,800	
ベルグアース	300	2,859.00	857,700	
フィット	1,200	1,160.00	1,392,000	
スペースバリューHD	1,000	797.00	797,000	
日鉄鉱業	200	6,610.00	1,322,000	
三井住友建設	4,400	493.00	2,169,200	
NIPPO	3,200	3,045.00	9,744,000	
東亜道路	100	4,285.00	428,500	
日本道路	300	8,100.00	2,430,000	
世紀東急	1,100	895.00	984,500	
四電工	2,200	2,953.00	6,496,600	
フィード・ワン	1,100	902.00	992,200	
セーラー広告	1,600	309.00	494,400	
かどや製油	300	4,015.00	1,204,500	
ハローズ	600	2,871.00	1,722,600	
倉敷紡績	600	1,869.00	1,121,400	
ありがとうサービス	300	1,948.00	584,400	

東レ	44,000	688.50	30,294,000
クラレ	9,600	1,222.00	11,731,200
アクサホールディングス	8,700	157.00	1,365,900
ファインデックス	7,200	1,171.00	8,431,200
eBASE	1,300	978.00	1,271,400
王子ホールディングス	27,400	722.00	19,782,800
大王製紙	45,600	1,895.00	86,412,000
ニッポン高度紙工業	3,000	3,070.00	9,210,000
阿波製紙	2,700	464.00	1,252,800
レンゴー	7,300	923.00	6,737,900
住友化学	44,700	561.00	25,076,700
東亜合成	3,500	1,327.00	4,644,500
大阪ソーダ	700	2,667.00	1,866,900
四国化成	15,100	1,334.00	20,143,400
田岡化学	100	13,210.00	1,321,000
大倉工業	3,300	2,083.00	6,873,900
ダイキアクシス	3,500	958.00	3,353,000
クリエアナプキ	600	610.00	366,000
大日本住友製薬	10,700	1,895.00	20,276,500
大塚ホールディングス	15,000	4,536.00	68,040,000
ジャストシステム	17,300	6,220.00	107,606,000
アース製薬	600	6,490.00	3,894,000
ニッタ	800	2,701.00	2,160,800
三ツ星ベルト	900	1,848.00	1,663,200
住友大阪セメント	1,000	3,675.00	3,675,000
太平洋セメント	3,400	2,803.00	9,530,200
日本興業	800	780.00	624,000
東洋炭素	600	2,073.00	1,243,800
丸一鋼管	2,500	2,535.00	6,337,500
新日本電工	4,000	385.00	1,540,000
三菱マテリアル	3,500	2,542.00	8,897,000
住友鉱山	7,800	4,780.00	37,284,000
三浦工業	19,600	6,050.00	118,580,000
NITTOKU	500	3,345.00	1,672,500
技研製作所	7,600	4,815.00	36,594,000
住友重機械	3,300	3,225.00	10,642,500
井関農機	6,200	1,667.00	10,335,400
タダノ	34,900	1,178.00	41,112,200
兼松エンジニアリング	1,500	1,462.00	2,193,000
ジェイテクト	9,300	1,121.00	10,425,300

三菱電機	57,900	1,665.50	96,432,450	
富士通	5,600	16,540.00	92,624,000	
日本トリム	200	4,235.00	847,000	
アオイ電子	3,200	2,393.00	7,657,600	
大真空	200	2,528.00	505,600	
川崎重工業	4,500	2,642.00	11,889,000	
新明和工業	1,900	994.00	1,888,600	
マルヨシセンター	300	3,400.00	1,020,000	
ダイコー通産	1,400	1,670.00	2,338,000	
ニホンフラッシュ	6,800	1,375.00	9,350,000	
セキ	300	1,663.00	498,900	
レック	1,000	1,260.00	1,260,000	
南海プライウッド	300	5,460.00	1,638,000	
リンテック	2,100	2,528.00	5,308,800	
ミロク	800	1,641.00	1,312,800	
ユニ・チャーム	25,300	4,603.00	116,455,900	
イオン	23,500	3,081.00	72,403,500	
フジ	10,300	2,091.00	21,537,300	
穴吹興産	3,100	2,116.00	6,559,600	
四国電力	60,200	836.00	50,327,200	
電源開発	4,900	1,871.00	9,167,900	
ヨンキュウ	1,700	1,895.00	3,221,500	
ジェコス	1,000	953.00	953,000	
合計			1,294,236,950	

(注) 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の有価証券が差し入れられております。

三菱電機

5,000株

ユニ・チャーム

4,000株

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

ファンドの経理状況

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、第8期計算期間（2020年9月25日から2021年3月24日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

その監査報告書は、該当する財務諸表の直前に添付しております。

財務諸表

地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）

(1) 貸借対照表

	第7期	第8期
	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	6,043,923	5,330,913
親投資信託受益証券	1,439,967,003	1,331,078,826
未収入金	8,200,000	4,080,000
流動資産合計	1,454,210,926	1,340,489,739
資産合計	1,454,210,926	1,340,489,739
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	26,550,247	32,853,674
未払解約金	8,046,999	4,033,998
未払受託者報酬	177,089	150,172
未払委託者報酬	4,516,901	3,830,549
その他未払費用	44,248	37,475
流動負債合計	39,335,484	40,905,868
負債合計	39,335,484	40,905,868

純資産の部		
元本等		
元本	1	1,327,512,388
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		87,363,054
（分配準備積立金）		101,758,054
元本等合計		1,414,875,442
純資産合計		1,414,875,442
負債純資産合計		1,454,210,926

(2) 損益及び剰余金計算書

	第7期	第8期
	自 2020年3月25日 至 2020年9月24日	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日
	金額（円）	金額（円）
営業収益		
受取利息	22	22
有価証券売買等損益	411,054,209	187,714,823
営業収益合計	411,054,231	187,714,845
営業費用		
支払利息	1,032	591
受託者報酬	177,089	150,172
委託者報酬	4,516,901	3,830,549
その他費用	44,285	37,475
営業費用合計	4,739,307	4,018,787
営業利益	406,314,924	183,696,058
経常利益	406,314,924	183,696,058
当期純利益	406,314,924	183,696,058
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	86,970,505	20,820,831
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	274,409,231	87,363,054
剰余金増加額又は欠損金減少額	70,592,916	5,560,804
当期一部解約に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	70,592,916	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	-	5,560,804
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,614,803	18,484,013
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	-	18,484,013

当期追加信託に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額		1,614,803	-
分配金	1	26,550,247	32,853,674
期末剰余金又は期末欠損金()		87,363,054	204,461,398

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第8期	
	自 2020年9月25日	至 2021年3月24日
有価証券の評価基準及び評価 方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて 評価しております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第7期	第8期
	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
1. 1 期首元本額	1,754,336,950円	1,327,512,388円
期中追加設定元本額	26,800,804円	45,088,198円
期中一部解約元本額	453,625,366円	277,478,113円
2. 計算期間末日における受益 権の総数	1,327,512,388口	1,095,122,473口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第7期	第8期
	自 2020年3月25日 至 2020年9月24日	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日

1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(20,028,157円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(66,768,988円)及び分配準備積立金(108,280,144円)より分配対象額は195,077,289円(1万口当たり1,469.50円)であり、うち26,550,247円(1万口当たり200円)を分配金額としております。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(10,789,481円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(149,632,847円)、投資信託約款に規定される収益調整金(58,146,394円)及び分配準備積立金(80,887,070円)より分配対象額は299,455,792円(1万口当たり2,734.45円)であり、うち32,853,674円(1万口当たり300円)を分配金額としております。</p>
------------	---	--

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	第8期 自 2020年9月25日 至 2021年3月24日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第8期
	2021年3月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第7期	第8期
	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	322,681,145	166,441,133
合計	322,681,145	166,441,133

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第7期	第8期
2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第8期
自 2020年9月25日
至 2021年3月24日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第7期 2020年9月24日現在	第8期 2021年3月24日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0658円 (10,658円)	1.1867円 (11,867円)

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	地方創生マザーファンド	787,946,976	1,331,078,826	
親投資信託受益証券 合計			1,331,078,826	
合計			1,331,078,826	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

参考情報

当ファンドは、「地方創生マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「地方創生マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	160,039,878	137,923,442
株式	2,733,067,000	2,679,310,400
未収入金	28,247,032	25,323,891
未収配当金	2,718,600	4,928,300
流動資産合計	2,924,072,510	2,847,486,033
資産合計	2,924,072,510	2,847,486,033
負債の部		
流動負債		
未払金	9,497,266	-
未払解約金	8,228,000	9,080,000
その他未払費用	1,008	-
流動負債合計	17,726,274	9,080,000
負債合計	17,726,274	9,080,000
純資産の部		
元本等		
元本	1,970,234,780	1,680,209,353
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	936,111,456	1,158,196,680
元本等合計	2,906,346,236	2,838,406,033
純資産合計	2,906,346,236	2,838,406,033
負債純資産合計	2,924,072,510	2,847,486,033

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式

2. 収益及び費用の計上基準	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
----------------	--

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
1. 1 期首	2020年3月25日	2020年9月25日
期首元本額	2,283,293,931円	1,970,234,780円
期中追加設定元本額	47,818,701円	39,465,226円
期中一部解約元本額	360,877,852円	329,490,653円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
地方創生ファンド（FOFs用）	976,182,634円	787,946,976円
（適格機関投資家専用）		
北海道未来の夢創生ファンド	906,924,194円	833,143,084円
地方創生日本株ファンド	87,127,952円	59,119,293円
計	1,970,234,780円	1,680,209,353円
2. 期末日における受益権の総数	1,970,234,780口	1,680,209,353口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年3月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	481,725,684	584,842,560
合計	481,725,684	584,842,560

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2020年3月25日から2020年9月24日まで、及び2020年3月25日から2021年3月24日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
--------------	--------------

該当事項はありません。	該当事項はありません。
-------------	-------------

(1口当たり情報)

	2020年9月24日現在	2021年3月24日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.4751円 (14,751円)	1.6893円 (16,893円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額(円)		備考
		単価	金額	
ウエストホールディングス	13,600	3,255.00	44,268,000	
ピーアールホールディングス	19,100	584.00	11,154,400	
高松コンストラクションGP	6,800	2,213.00	15,048,400	
第一建設工業	3,900	1,862.00	7,261,800	
大豊建設	3,800	3,980.00	15,124,000	
五洋建設	14,400	866.00	12,470,400	
ライト工業	7,200	1,866.00	13,435,200	
中電工	2,800	2,434.00	6,815,200	
日揮ホールディングス	18,200	1,315.00	23,933,000	
NECネットエスアイ	17,400	1,969.00	34,260,600	
中部飼料	5,500	1,456.00	8,008,000	
シイエム・シイ	4,400	2,322.00	10,216,800	
寿スピリッツ	1,800	7,010.00	12,618,000	
森永乳業	2,400	5,790.00	13,896,000	
日本ハム	3,100	4,825.00	14,957,500	
日本駐車場開発	91,000	154.00	14,014,000	
ディップ	9,100	2,801.00	25,489,100	
オリエンタルコンサルタンツHD	5,500	2,511.00	13,810,500	
サンエー	1,800	4,665.00	8,397,000	
くら寿司	2,100	7,120.00	14,952,000	
パルグループHLDGS	9,400	1,552.00	14,588,800	
JALUX	4,500	1,661.00	7,474,500	
セリア	3,300	3,830.00	12,639,000	
ゲンゼ	4,000	4,115.00	16,460,000	
アルコニックス	8,300	1,651.00	13,703,300	
物語コーポレーション	5,200	6,910.00	35,932,000	
東洋紡	9,400	1,480.00	13,912,000	

富士紡ホールディングス	6,000	4,035.00	24,210,000
ダイワボウHD	2,800	8,930.00	25,004,000
日東紡績	2,700	3,980.00	10,746,000
TOKAIホールディングス	25,300	959.00	24,262,700
三洋貿易	11,400	1,159.00	13,212,600
鳥貴族ホールディングス	4,200	1,738.00	7,299,600
B E E N O S	11,400	2,816.00	32,102,400
シップヘルスケアHD	2,500	6,340.00	15,850,000
ソフトクリエイイトHD	6,900	2,704.00	18,657,600
ツルハホールディングス	500	14,230.00	7,115,000
バルニバービ	13,500	995.00	13,432,500
川田テクノロジーズ	3,100	4,780.00	14,818,000
ジェイテックコーポレーション	2,200	3,150.00	6,930,000
テクノフレックス	12,800	1,025.00	13,120,000
ハウスドゥ	10,500	1,133.00	11,896,500
ジェイ・エス・ビー	3,400	3,185.00	10,829,000
セーレン	18,200	2,010.00	36,582,000
サイバーリンクス	5,800	1,634.00	9,477,200
ヴィンクス	2,600	1,082.00	2,813,200
エコミック	3,100	1,110.00	3,441,000
ニッポン高度紙工業	5,500	2,874.00	15,807,000
ティビィシィ・スキヤット	4,700	1,241.00	5,832,700
日本曹達	8,600	3,530.00	30,358,000
イビデン	7,100	5,170.00	36,707,000
四国化成	20,200	1,250.00	25,250,000
大阪有機化学	11,200	3,470.00	38,864,000
プロトコーポレーション	22,200	1,141.00	25,330,200
C E ホールディングス	15,700	540.00	8,478,000
日本システム技術	8,800	1,522.00	13,393,600
シーティーエス	17,200	861.00	14,809,200
扶桑化学工業	6,900	3,930.00	27,117,000
システムサポート	4,800	1,565.00	7,512,000
ヒト・コミュニケーションズHD	9,400	1,964.00	18,461,600
第一工業製薬	3,300	3,635.00	11,995,500
ソフト99コーポレーション	11,200	1,370.00	15,344,000
日本新薬	1,600	7,860.00	12,576,000
参天製薬	6,300	1,540.00	9,702,000
ツムラ	6,500	3,870.00	25,155,000
ダイト	6,700	3,540.00	23,718,000
大塚ホールディングス	2,500	4,560.00	11,400,000

ミズホメディー	5,800	3,505.00	20,329,000
日本空調サービス	11,700	769.00	8,997,300
アイティフォー	22,100	850.00	18,785,000
トスネット	9,000	914.00	8,226,000
メック	5,000	2,230.00	11,150,000
アース製薬	800	6,550.00	5,240,000
TOYO TIRE	7,400	1,932.00	14,296,800
有沢製作所	24,900	1,060.00	26,394,000
日本製鋼所	8,800	2,521.00	22,184,800
アサヒHD	6,500	4,230.00	27,495,000
OSJB HD	44,100	294.00	12,965,400
日東精工	18,200	572.00	10,410,400
タクマ	12,500	2,372.00	29,650,000
チャームケアコーポレーション	10,500	1,293.00	13,576,500
シグマクシス	15,400	1,805.00	27,797,000
ヒューマン・メタボローム・テク	2,900	891.00	2,583,900
FUJI	5,000	2,723.00	13,615,000
ベルシステム24HLDGS	14,800	1,857.00	27,483,600
フリュー	10,600	1,157.00	12,264,200
ヒラノテクシード	4,700	2,733.00	12,845,100
平田機工	1,300	6,800.00	8,840,000
タツモ	8,500	1,985.00	16,872,500
ホソカワミクロン	1,300	6,650.00	8,645,000
技研製作所	8,000	4,930.00	39,440,000
TOWA	6,800	2,029.00	13,797,200
タクミナ	9,000	1,360.00	12,240,000
荏原実業	6,200	4,730.00	29,326,000
三精テクノロジーズ	16,800	805.00	13,524,000
オルガノ	3,900	6,040.00	23,556,000
栗田工業	6,100	4,630.00	28,243,000
兼松エンジニアリング	9,100	1,534.00	13,959,400
キトー	5,900	1,718.00	10,136,200
竹内製作所	4,300	2,950.00	12,685,000
TPR	9,800	1,605.00	15,729,000
ダイヘン	2,900	4,760.00	13,804,000
I-PEX	5,000	2,009.00	10,045,000
日東工業	11,500	2,016.00	23,184,000
インスペック	1,100	2,054.00	2,259,400
MCJ	11,200	1,009.00	11,300,800
ジーエス・ユアサコーポ	6,500	2,887.00	18,765,500

電気興業	3,400	2,675.00	9,095,000
E I Z O	9,200	4,275.00	39,330,000
精工技研	5,300	2,338.00	12,391,400
スタンレー電気	4,700	3,320.00	15,604,000
山一電機	7,800	1,413.00	11,021,400
新光電気工業	9,600	3,225.00	30,960,000
太平洋工業	16,300	1,280.00	20,864,000
豊田合成	9,000	2,876.00	25,884,000
S P K	11,700	1,301.00	15,221,700
萩原電気H L D G S	4,800	2,590.00	12,432,000
アルビス	4,300	2,460.00	10,578,000
ドウシシャ	6,500	1,901.00	12,356,500
コジマ	14,700	706.00	10,378,200
アルゴグラフィックス	4,100	3,215.00	13,181,500
ハンズマン	7,200	1,769.00	12,736,800
薬王堂ホールディングス	8,300	2,793.00	23,181,900
ナカニシ	11,600	2,212.00	25,659,200
スター精密	11,600	1,622.00	18,815,200
メニコン	1,800	6,130.00	11,034,000
ニホンフラッシュ	22,200	1,370.00	30,414,000
前田工織	12,200	3,315.00	40,443,000
フルヤ金属	1,900	6,830.00	12,977,000
萩原工業	9,300	1,421.00	13,215,300
フジシールインターナショナル	10,500	2,454.00	25,767,000
藤森工業	3,800	4,405.00	16,739,000
ニチハ	8,100	3,200.00	25,920,000
エフピコ	6,300	4,350.00	27,405,000
信越ポリマー	22,400	992.00	22,220,800
ゴ-ルドウイン	1,400	6,990.00	9,786,000
三益半導体	5,100	2,684.00	13,688,400
日本瓦斯	5,300	5,670.00	30,051,000
コメリ	4,500	3,125.00	14,062,500
アクシアルリテイリング	2,700	4,890.00	13,203,000
イズミ	3,400	4,505.00	15,317,000
ゼビオホールディングス	2,900	924.00	2,679,600
カチタス	5,600	2,980.00	16,688,000
東祥	10,000	1,787.00	17,870,000
青山財産ネットワークス	9,000	1,564.00	14,076,000
ハマキョウレックス	4,100	3,355.00	13,755,500
南海電鉄	2,900	2,605.00	7,554,500

センコーグループHLDGS	14,100	1,071.00	15,101,100	
九州旅客鉄道	5,800	2,655.00	15,399,000	
上組	4,300	2,153.00	9,257,900	
内外トランスライン	8,800	1,449.00	12,751,200	
沖縄セルラー電話	5,200	5,170.00	26,884,000	
ファイバーゲート	5,100	1,801.00	9,185,100	
エイチ・アイ・エス	8,400	2,125.00	17,850,000	
東京都競馬	2,600	5,610.00	14,586,000	
シーイーシー	12,600	1,523.00	19,189,800	
西尾レントオール	4,700	2,900.00	13,630,000	
福井コンピュータHLD S	3,500	4,100.00	14,350,000	
アークランドサカモト	6,700	1,839.00	12,321,300	
アークス	3,500	2,371.00	8,298,500	
やまや	3,500	2,531.00	8,858,500	
合計			2,679,310,400	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	180,745,505	33,022,354
コール・ローン	2,574,396	15,643,539
国債証券	20,578,632,462	19,686,051,161
特殊債券	953,178,221	983,064,713

派生商品評価勘定		78,756,374	1,802,965
未収入金		83,549,530	-
未収利息		189,654,315	174,681,193
前払費用		11,352,619	9,529,639
差入委託証拠金		123,681,236	129,949,239
流動資産合計		22,202,124,658	21,033,744,803
資産合計		22,202,124,658	21,033,744,803
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		16,621,247	1,290,858
未払解約金		18,701,839	14,826,681
その他未払費用		5	19
流動負債合計		35,323,091	16,117,558
負債合計		35,323,091	16,117,558
純資産の部			
元本等			
元本	1	12,915,841,496	11,224,863,833
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		9,250,960,071	9,792,763,412
元本等合計		22,166,801,567	21,017,627,245
純資産合計		22,166,801,567	21,017,627,245
負債純資産合計		22,202,124,658	21,033,744,803

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券及び特殊債券

	<p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1. 1 期首	2019年4月11日	2020年4月11日
期首元本額	16,342,082,124円	12,915,841,496円
期中追加設定元本額	245,318,540円	314,460,166円
期中一部解約元本額	3,671,559,168円	2,005,437,829円
期末元本額の内訳 ファンド名		

ダイワF0Fs用外債ソブリン・オープン（適格機関投資家専用）	1,412,397,128円	1,333,773,778円
ダイワ外債ソブリン・オープン（毎月分配型）	789,710,956円	687,099,086円
ダイワ・バランス3資産（外債・海外リート・好配当日本株）	34,349,448円	39,434,095円
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	143,474,640円	131,001,808円
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	247,050,736円	234,144,396円
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	340,657,390円	353,734,955円
京都応援バランスファンド（隔月分配型）	177,395,698円	176,741,979円
6資産バランスファンド（分配型）	855,195,600円	818,849,699円
6資産バランスファンド（成長型）	86,067,233円	100,645,804円
ダイワ海外ソブリン・ファンド（毎月分配型）	5,840,623,363円	4,711,387,315円
世界6資産均等分散ファンド（毎月分配型）	51,359,696円	51,889,173円
ダイワ外債ソブリン・ファンド（毎月分配型）	224,965,102円	183,624,236円
兵庫応援バランスファンド（毎月分配型）	829,206,328円	717,138,027円
『しがぎん』SRI三資産バランス・オープン（奇数月分配型）	18,919,916円	15,858,903円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	186,791,683円	180,277,386円
ダイワ資産分散インカムオープン（奇数月決算型）	795,023,301円	761,726,244円
ダイワ海外ソブリン・ファンド（1年決算型）	13,739,078円	20,229,599円
四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）	636,674,559円	551,711,392円
四国アライアンス 地域創生ファンド（年2回決算型）	232,239,641円	155,595,958円
計	12,915,841,496円	11,224,863,833円

2. 期末日における受益権の総数	12,915,841,496口	11,224,863,833口
------------------	-----------------	-----------------

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年4月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しい
ことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	140,090,754	814,313,569
特殊債券	26,619,697	28,270,602
合計	166,710,451	842,584,171

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2019年10月11日から2020年4月10日まで、及び2020年10月13日から2021年4月12日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2020年4月10日 現在				2021年4月12日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	2,200,960,313	-	2,215,146,670	14,186,357	128,813,035	-	130,103,893	1,290,858
アメリカ・ドル	87,617,797	-	87,563,609	54,188	128,813,035	-	130,103,893	1,290,858
カナダ・ドル	1,851,703,288	-	1,868,324,535	16,621,247	-	-	-	-
スウェーデン ・クローナ	261,639,228	-	259,258,526	2,380,702	-	-	-	-
買 建	2,113,342,516	-	2,189,664,000	76,321,484	128,813,035	-	130,616,000	1,802,965

オーストラリア・ドル	1,851,703,288	-	1,918,560,000	66,856,712	-	-	-	-
ノルウェー・クローネ	261,639,228	-	271,104,000	9,464,772	-	-	-	-
ユーロ	-	-	-	-	128,813,035	-	130,616,000	1,802,965
合計	4,314,302,829	-	4,404,810,670	62,135,127	257,626,070	-	260,719,893	512,107

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1口当たり純資産額	1.7162円	1.8724円
(1万口当たり純資産額)	(17,162円)	(18,724円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	2.25% United States Treasury Note/Bond 20270815	アメリカ・ドル 17,798,800.000	アメリカ・ドル 18,939,703.080	

	0.875% United States Treasury Note/Bond 20301115	27,183,400.000	25,329,220.270	
アメリカ・ドル	小計		アメリカ・ドル 44,268,923.350 (4,858,514,338)	
イギリス・ポンド		イギリス・ポンド	イギリス・ポンド	
	1.5% United Kingdom Gilt 20260722	4,500,000.000	4,763,880.000	
	1.625% United Kingdom Gilt 20281022	3,200,000.000	3,440,736.000	
	0.25% United Kingdom Gilt 20310731	3,095,700.000	2,900,856.640	
	5% United Kingdom Gilt 20250307	3,905,900.000	4,632,241.160	
	4.25% United Kingdom Gilt 20461207	1,000,000.000	1,641,330.000	
イギリス・ポンド	小計		イギリス・ポンド 17,379,043.800 (2,615,372,301)	
オーストラリア・ドル		オーストラリア・ドル	オーストラリア・ドル	
	4.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20270421	2,307,000.000	2,825,959.650	
	3.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20290421	2,900,000.000	3,317,919.000	
	4.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20330421	19,000,000.000	24,480,550.000	
オーストラリア・ドル	小計		オーストラリア・ドル 30,624,428.650 (2,561,120,968)	
カナダ・ドル		カナダ・ドル	カナダ・ドル	
	3.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20451201	1,500,000.000	1,976,820.000	
	1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20260601	9,673,000.000	9,930,495.260	
	0.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20301201	8,096,000.000	7,397,477.120	
カナダ・ドル	小計		カナダ・ドル 19,304,792.380 (1,690,327,621)	

スウェーデン・ クローナ	1.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20231113	スウェーデン・クローナ 13,630,000.000	スウェーデン・クローナ 14,268,156.600	
	1% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20261112	14,230,000.000	15,056,193.800	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 29,324,350.400 (376,817,903)	
デンマーク・ク ローネ	4.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20391115	デンマーク・クローネ 5,500,000.000	デンマーク・クローネ 9,815,300.000	
	1.75% DANISH GOVERNMENT BOND 20251115	29,000,000.000	32,007,880.000	
デンマーク・クローネ 小計			デンマーク・クローネ 41,823,180.000 (734,415,041)	
ノルウェー・ク ローネ	3% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20240314	ノルウェー・クローネ 20,000,000.000	ノルウェー・クローネ 21,333,400.000	
ノルウェー・クローネ 小計			ノルウェー・クローネ 21,333,400.000 (275,414,194)	
ポーランド・ズ ロチ	1.75% Poland Government Bond 20210725	ポーランド・ズロチ 21,093,000.000	ポーランド・ズロチ 21,199,519.650	
	2.75% Poland Government Bond 20280425	25,000,000.000	27,585,000.000	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 48,784,519.650 (1,406,838,221)	
ユーロ	2.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20460815	ユーロ 695,000.000	ユーロ 1,102,158.800	
	3.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20450525	4,750,400.000	7,557,363.850	
	3.75% Belgium Government Bond 20450622	1,500,000.000	2,538,960.000	

		1% IRISH TREASURY 20260515	3,420,000.000	3,677,355.000	
		1.1% IRISH TREASURY 20290515	2,387,600.000	2,633,284.040	
		1.95% SPANISH GOVERNMENT BOND 20260430	9,550,000.000	10,613,106.000	
		1.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20280430	9,136,000.000	10,026,668.640	
		SPANISH GOVERNMENT BOND 20260131	1,400,000.000	1,416,422.000	
	ユーロ	小計		ユーロ 39,565,318.330 (5,167,230,574)	
国債証券	合計			19,686,051,161 [19,686,051,161]	
特殊債券	カナダ・ドル	2.55% CANADA HOUSING TRUST 20250315	カナダ・ドル 2,815,000.000	カナダ・ドル 2,993,611.750	
		2.25% CANADA HOUSING TRUST 20251215	7,830,000.000	8,233,714.800	
	カナダ・ドル	小計		カナダ・ドル 11,227,326.550 (983,064,713)	
特殊債券	合計			983,064,713 [983,064,713]	
合計				20,669,115,874 [20,669,115,874]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における () 内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における [] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 2銘柄	100%	23.5%
イギリス・ポンド	国債証券 5銘柄	100%	12.7%
オーストラリア・ドル	国債証券 3銘柄	100%	12.4%
カナダ・ドル	国債証券 3銘柄 特殊債券 2銘柄	100%	12.9%
スウェーデン・クローナ	国債証券 2銘柄	100%	1.8%
デンマーク・クローネ	国債証券 2銘柄	100%	3.6%
ノルウェー・クローネ	国債証券 1銘柄	100%	1.3%
ポーランド・ズロチ	国債証券 2銘柄	100%	6.8%

ユーロ	国債証券	8銘柄	100%	25.0%
-----	------	-----	------	-------

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	158,759,871	778,489,191
コール・ローン	6,993,853,951	527,317,892
国債証券	28,343,063,670	45,434,140,686
地方債証券	1,748,020,557	14,396,767,554
特殊債券	495,346,621	2,555,553,002
社債券	7,909,186,383	9,302,185,673
派生商品評価勘定	259,715,580	264,270,324
未収利息	219,178,326	261,923,910
前払費用	21,811,481	78,482,689
差入委託証拠金	230,319,966	212,475,372
流動資産合計	46,379,256,406	73,811,606,293
資産合計	46,379,256,406	73,811,606,293
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	119,780,575	96,634,365
未払金	1,807,776,272	644,326,817
未払解約金	-	2,452,000
その他未払費用	222	2,133
流動負債合計	1,927,557,069	743,415,315
負債合計	1,927,557,069	743,415,315
純資産の部		
元本等		

元本	1	38,163,838,749	61,775,558,656
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金()		6,287,860,588	11,292,632,322
元本等合計		44,451,699,337	73,068,190,978
純資産合計		44,451,699,337	73,068,190,978
負債純資産合計		46,379,256,406	73,811,606,293

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準

外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1. 1 期首	2019年4月11日	2020年4月11日
期首元本額	24,136,336,706円	38,163,838,749円
期中追加設定元本額	23,978,780,537円	30,013,008,183円
期中一部解約元本額	9,951,278,494円	6,401,288,276円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ネオ・ヘッジ付債券ファンド (FOFs用)(適格機関投資家 専用)	36,904,261,050円	60,655,811,071円
四国アライアンス 地域創生 ファンド(年1回決算型)	923,870,957円	872,686,646円
四国アライアンス 地域創生 ファンド(年2回決算型)	334,848,391円	246,214,334円
ワールド・アクティブ・ボン ド・オープン(為替ヘッジあ り)	858,351円	846,605円
計	38,163,838,749円	61,775,558,656円
2. 期末日における受益権の総数	38,163,838,749口	61,775,558,656口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年4月11日 至 2021年4月12日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における債券先物取引を利用しております。また、外貨建資産について為替変動リスクを回避すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年4月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	<p>金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
国債証券	488,029,353	685,827,330
地方債証券	37,536,899	659,646,394
特殊債券	8,002,989	117,645,920
社債券	8,991,856	17,888,273
合計	524,577,385	1,445,231,371

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2019年6月18日から2020年4月10日まで、及び2020年6月16日から2021年4月12日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

1. 債券関連

種 類	2020年4月10日 現在				2021年4月12日 現在			
	契約額等		時価 （円）	評価損益 （円）	契約額等		時価 （円）	評価損益 （円）
	（円）	うち 1年超			（円）	うち 1年超		
市場取引								
債券先物取引								
買 建	2,468,719,710	-	2,468,891,077	171,367	230,245,210	-	223,114,890	7,130,320
合計	2,468,719,710	-	2,468,891,077	171,367	230,245,210	-	223,114,890	7,130,320

（注） 1. 時価の算定方法

債券先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

- 債券先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
- 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

2. 通貨関連

	2020年4月10日 現在	2021年4月12日 現在

種 類	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	39,207,701,638	-	39,068,583,200	139,118,438	72,326,031,913	-	72,151,265,634	174,766,279
アメリカ・ドル	9,888,101,720	-	9,874,630,000	13,471,720	19,106,362,196	-	18,992,211,540	114,150,656
イギリス・ポ ンド	664,664,064	-	679,256,200	14,592,136	2,845,802,409	-	2,800,321,384	45,481,025
オーストラ リア・ドル	2,320,768,384	-	2,411,200,000	90,431,616	6,106,487,640	-	6,068,786,460	37,701,180
カナダ・ドル	1,707,141,020	-	1,713,634,000	6,492,980	14,443,532,493	-	14,376,595,030	66,937,463
スウェーデン ・クローナ	1,510,957,800	-	1,513,710,000	2,752,200	804,376,725	-	815,340,000	10,963,275
ポーランド ・ズロチ	-	-	-	-	977,523,690	-	994,562,550	17,038,860
メキシコ・ペ ソ	210,514,480	-	205,660,000	4,854,480	272,803,640	-	274,076,140	1,272,500
ユーロ	22,905,554,170	-	22,670,493,000	235,061,170	27,769,143,120	-	27,829,372,530	60,229,410
買 建	1,947,152,800	-	1,947,798,000	645,200	-	-	-	-
アメリカ・ドル	870,732,000	-	868,720,000	2,012,000	-	-	-	-
ユーロ	1,076,420,800	-	1,079,078,000	2,657,200	-	-	-	-
合計	41,154,854,438	-	41,016,381,200	139,763,638	72,326,031,913	-	72,151,265,634	174,766,279

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年4月10日現在	2021年4月12日現在
1口当たり純資産額	1.1648円	1.1828円
(1万口当たり純資産額)	(11,648円)	(11,828円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	アメリカ・ドル	3.5% United States Treasury Note/Bond 20390215	アメリカ・ドル 1,000,000.000	アメリカ・ドル 1,213,820.000	
		2% United States Treasury Note/Bond 20500215	17,200,000.000	15,994,624.000	
		0.375% United States Treasury Note/Bond 20251231	75,000,000.000	73,473,000.000	
		1.875% United States Treasury Note/Bond 20410215	4,000,000.000	3,777,960.000	
		0.5% United States Treasury Note/Bond 20260228	29,000,000.000	28,517,150.000	
		4% Mexico Government International Bond 20231002	1,100,000.000	1,192,312.000	
		4.5% Mexico Government International Bond 20290422	2,000,000.000	2,231,220.000	
		アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 126,400,086.000 (13,872,409,438)	
イギリス・ポンド		イギリス・ポンド	イギリス・ポンド		

	0.375% United Kingdom Gilt 20301022	7,000,000.000	6,720,420.000	
	0.625% United Kingdom Gilt 20501022	7,000,000.000	5,830,510.000	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 12,550,930.000 (1,888,789,456)	
オーストラリア・ドル	1.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20310621	14,000,000.000	オーストラリア・ドル 13,744,360.000	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 13,744,360.000 (1,149,440,827)	
ポーランド・ズロチ	1.25% Poland Government Bond 20301025	35,000,000.000	ポーランド・ズロチ 33,898,550.000	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 33,898,550.000 (977,559,605)	
メキシコ・ペソ	7.5% Mexican Bonos 20270603	43,000,000.000	メキシコ・ペソ 46,588,780.000	
メキシコ・ペソ 小計			メキシコ・ペソ 46,588,780.000 (253,578,071)	
ユーロ	0.75% FRENCH GOVERNMENT BOND 20520525	4,500,000.000	ユーロ 4,424,850.000	
	0.5% FRENCH GOVERNMENT BOND 20400525	2,000,000.000	1,999,460.000	
	2.75% NETHERLANDS GOVERNMENT BOND 20470115	4,500,000.000	7,341,030.000	
	2% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20251201	1,600,000.000	1,746,832.000	
	2.45% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20231001	12,000,000.000	12,810,840.000	
	1.35% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20300401	6,000,000.000	6,383,820.000	
	0.35% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20250201	2,000,000.000	2,033,400.000	

		1.85% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20250701	7,000,000.000	7,551,670.000	
		0.95% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20300801	18,000,000.000	18,480,420.000	
		1.65% ITALIAN GOVERNMENT BOND 20301201	19,000,000.000	20,685,300.000	
		4.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20260301	34,000,000.000	41,372,220.000	
		4.5% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20240301	20,400,000.000	23,177,256.000	
		3.75% Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 20240901	39,500,000.000	44,735,725.000	
		0.5% SPANISH GOVERNMENT BOND 20300430	5,500,000.000	5,621,330.000	
		1% SPANISH GOVERNMENT BOND 20501031	1,500,000.000	1,386,675.000	
		4.7% SPANISH GOVERNMENT BOND 20410730	5,500,000.000	9,225,920.000	
	ユーロ 小計			ユーロ 208,976,748.000 (27,292,363,289)	
国債証券 合計				45,434,140,686 [45,434,140,686]	
地方債証券	カナダ・ドル		カナダ・ドル	カナダ・ドル	
		1.9% Province of Quebec Canada 20300901	58,000,000.000	57,354,460.000	
		2.9% ONTARIO PROVINCE 20280602	26,000,000.000	27,975,480.000	
		2.05% ONTARIO PROVINCE 20300602	34,000,000.000	34,011,560.000	
		1.55% BRITISH COLUMBIA 20310618	37,000,000.000	34,923,190.000	
		2.2% Province of Alberta Canada 20260601	5,000,000.000	5,197,350.000	
		2.05% Province of Alberta Canada 20300601	5,000,000.000	4,959,700.000	
	カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 164,421,740.000 (14,396,767,554)	
地方債証券 合計				14,396,767,554	

				[14,396,767,554]	
特殊債券	イギリス・ポンド	1.625% BNG Bank NV 20250826	イギリス・ポンド 2,500,000.000	イギリス・ポンド 2,622,800.000	
	イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 2,622,800.000 (394,705,172)	
	オーストラリア・ドル	1.5% TREASURY CORP VICTORIA 20310910	オーストラリア・ドル 27,000,000.000	オーストラリア・ドル 25,838,190.000	
	オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 25,838,190.000 (2,160,847,830)	
特殊債券 合計				2,555,553,002 [2,555,553,002]	
社債券	アメリカ・ドル	FR 2.301% JPMorgan Chase & Co 20251015	アメリカ・ドル 1,000,000.000	アメリカ・ドル 1,043,650.000	
		6.2% Wal-Mart Stores Inc 20380415	100,000.000	146,600.000	
		3.875% GlaxoSmithKline Capital Inc 20280515	1,500,000.000	1,709,250.000	
		3.5% HSBC USA Inc 20240623	300,000.000	324,486.000	
		3.25% Credit Agricole SA/London 20241004	1,000,000.000	1,075,280.000	
		3% MetLife Inc 20250301	300,000.000	323,157.000	
		2.4% Microsoft Corp 20260808	1,000,000.000	1,062,690.000	
		3.3% International Business Machines Corp 20260515	1,000,000.000	1,094,990.000	
		FR 0.83975% American Express Co 20230227	1,500,000.000	1,512,135.000	
		4.375% BNP Paribas SA 20250928	2,000,000.000	2,229,280.000	
		2.275% Exxon Mobil Corp 20260816	2,000,000.000	2,093,360.000	
		3.777% Mitsubishi UFJ Financial Group Inc 20250302	1,000,000.000	1,096,900.000	
		3.407% Mitsubishi UFJ Financial Group Inc 20240307	2,000,000.000	2,146,840.000	
3.1% Boeing Co/The 20260501	2,000,000.000	2,101,860.000			

2.846% Sumitomo Mitsui Financial Group Inc 20220111	500,000.000	509,470.000	
4.3% HSBC Holdings PLC 20260308	2,000,000.000	2,248,900.000	
2.75% Bayer US Finance II LLC 20210715	400,000.000	401,956.000	
2.375% Shell International Finance BV 20250406	2,000,000.000	2,112,720.000	
3.8% McDonald's Corp 20280401	1,500,000.000	1,676,385.000	
3.3% Caterpillar Financial Services Corp 20240609	650,000.000	704,190.500	
2.25% John Deere Capital Corp 20260914	2,000,000.000	2,097,600.000	
3.875% CITIGROUP INC 20250326	500,000.000	546,980.000	
FR 3.887% CITIGROUP INC 20280110	2,000,000.000	2,218,340.000	
3.2% CITIGROUP INC 20261021	1,500,000.000	1,620,990.000	
FR 3.593% BANK OF AMERICA CORP. 20280721	3,000,000.000	3,275,700.000	
4.125% Wells Fargo & Co 20230815	200,000.000	216,626.000	
4.1% Wells Fargo & Co 20260603	3,000,000.000	3,351,360.000	
3.75% MORGAN STANLEY 20230225	200,000.000	212,186.000	
3.875% MORGAN STANLEY 20260127	1,000,000.000	1,114,660.000	
4% GOLDMAN SACHS GROUP INC. 20240303	200,000.000	218,620.000	
3.5% GOLDMAN SACHS GROUP INC. 20250401	2,000,000.000	2,173,760.000	
3.375% BPCE SA 20261202	1,000,000.000	1,094,170.000	
4.5% BPCE SA 20250315	1,000,000.000	1,103,190.000	
4.8% ABN AMRO Bank NV 20260418	1,000,000.000	1,134,750.000	
4.2% Mizuho Financial Group Cayman 2 Ltd 20220718	500,000.000	521,455.000	
アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 46,514,486.500 (5,104,964,893)	

イギリス・ポンド	5.25% Cooperatieve Rabobank UA 20270914	イギリス・ポンド 1,500,000.000	イギリス・ポンド 1,806,945.000	
	6.625% Aegon NV 20391216	200,000.000	342,362.000	
	3.75% InterContinental Hotels Group PLC 20250814	1,000,000.000	1,082,640.000	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 3,231,947.000 (486,375,704)	
オーストラリア・ドル	FR 4.215% JPMorgan Chase & Co 20290522	オーストラリア・ドル 2,000,000.000	オーストラリア・ドル 2,219,700.000	
	FR 2.9% Standard Chartered PLC 20250628	2,000,000.000	2,099,560.000	
	4.6% AT&T Inc 20280919	2,000,000.000	2,301,560.000	
	FR 4.2% Credit Agricole SA 20340529	2,000,000.000	2,145,960.000	
	4.7% Societe Generale SA 20280920	1,000,000.000	1,104,800.000	
	4.875% Societe Generale SA 20261013	2,000,000.000	2,203,040.000	
	5.244% Barclays PLC 20280615	2,000,000.000	2,323,880.000	
	4% Barclays PLC 20290626	2,000,000.000	2,152,540.000	
	4.75% Lloyds Banking Group PLC 20280523	2,000,000.000	2,282,100.000	
	4.5% Verizon Communications Inc 20270817	3,500,000.000	4,013,730.000	
	3.6% Apple Inc 20260610	1,400,000.000	1,567,776.000	
	4.5% BPCE SA 20280426	3,500,000.000	3,909,325.000	
	4.2% VODAFONE GROUP 20271213	2,000,000.000	2,232,160.000	
4.2% AusNet Services Holdings Pty Ltd 20280821	1,800,000.000	2,064,546.000		
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 32,620,677.000 (2,728,067,217)	
スウェーデン・クローナ	1.25% Lansforsakringar Hypotek AB 20250917	スウェーデン・クローナ 60,000,000.000	スウェーデン・クローナ 62,695,800.000	

スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 62,695,800.000 (805,641,030)
ユーロ	0.95% International Business Machines Corp 20250523	ユーロ 1,000,000.000	ユーロ 1,043,590.000
	1% BMW FINANCE NV 20250121	300,000.000	312,741.000
ユーロ 小計			ユーロ 1,356,331.000 (177,136,829)
社債券 合計			9,302,185,673 [9,302,185,673]
合計			71,688,646,915 [71,688,646,915]

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 7銘柄	100%	26.5%
	社債券 35銘柄		
イギリス・ポンド	国債証券 2銘柄	100%	3.9%
	特殊債券 1銘柄		
	社債券 3銘柄		
オーストラリア・ドル	国債証券 1銘柄	100%	8.4%
	特殊債券 1銘柄		
	社債券 14銘柄		
カナダ・ドル	地方債証券 6銘柄	100%	20.1%
スウェーデン・クローナ	社債券 1銘柄	100%	1.1%
ポーランド・ズロチ	国債証券 1銘柄	100%	1.4%
メキシコ・ペソ	国債証券 1銘柄	100%	0.4%
ユーロ	国債証券 16銘柄	100%	38.2%
	社債券 2銘柄		

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2021年4月13日から2021年10月12日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

		当中間計算期間末 2021年10月12日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		50,906,011
投資信託受益証券		958,383,662
親投資信託受益証券		2,874,597,410
未収入金		11,647,000
流動資産合計		3,895,534,083
資産合計		
		3,895,534,083
負債の部		
流動負債		
未払解約金		12,047,225
未払受託者報酬		668,802
未払委託者報酬		19,507,838
その他未払費用		167,126
流動負債合計		32,390,991
負債合計		
		32,390,991
純資産の部		
元本等		
元本		1 3,264,733,880
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）		598,409,212
（分配準備積立金）		475,846,149
元本等合計		3,863,143,092
純資産合計		
		3,863,143,092
負債純資産合計		
		3,895,534,083

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当中間計算期間 自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
営業収益	
受取配当金	15,728,529
有価証券売買等損益	34,564,867
営業収益合計	18,836,338
営業費用	
支払利息	6,173
受託者報酬	668,802
委託者報酬	19,507,838
その他費用	167,126
営業費用合計	20,349,939
営業利益又は営業損失（ ）	39,186,277
経常利益又は経常損失（ ）	39,186,277
中間純利益又は中間純損失（ ）	39,186,277
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	537,309
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	678,867,676
剰余金増加額又は欠損金減少額	52,520,364
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	52,520,364
剰余金減少額又は欠損金増加額	93,255,242
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	93,255,242
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	598,409,212

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額を計上しております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 2021年10月12日現在
1. 1 期首元本額	3,471,510,654円
期中追加設定元本額	270,710,404円
期中一部解約元本額	477,487,178円
2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	3,264,733,880口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 2021年10月12日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

当中間計算期間末 2021年10月12日現在
該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 2021年10月12日現在
1口当たり純資産額	1.1833円
(1万口当たり純資産額)	(11,833円)

(参考)

当ファンドは、「地方創生ファンド（F0Fs用）（適格機関投資家専用）」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「四国応援マザーファンド」受益証券、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券及び「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの中間計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「四国応援マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年10月12日現在	
	金額(円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		8,623,232
株式	2	1,168,605,380
未収配当金		7,298,150
前払金		243,000
流動資産合計		1,184,769,762
資産合計		1,184,769,762
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		348,550
流動負債合計		348,550
負債合計		348,550
純資産の部		
元本等		
元本	1	906,104,277
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()		278,316,935
元本等合計		1,184,421,212
純資産合計		1,184,421,212
負債純資産合計		1,184,769,762

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2021年10月12日現在
1. 1 期首	2021年4月13日
期首元本額	958,483,145円
期中追加設定元本額	55,846,540円
期中一部解約元本額	108,225,408円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年1回決算型）	710,650,224円
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年2回決算型）	195,454,053円

計		906,104,277円
2.	期末日における受益権の総数	906,104,277口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。
		株式 26,179,000円

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年10月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	2021年10月12日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数 先物取引				
買 建	10,218,000	-	9,870,000	348,000
合計	10,218,000	-	9,870,000	348,000

（注） 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（1口当たり情報）

	2021年10月12日現在
1口当たり純資産額	1.3072円
（1万口当たり純資産額）	（13,072円）

「地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、第9期計算期間（2021年3月25日から2021年9月24日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

その監査報告書は、該当する財務諸表の直前に添付しております。

【財務諸表】

地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

貸借対照表

	第8期	第9期
	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
	金額（円）	金額（円）

資産の部		
流動資産		
コール・ローン	5,330,913	5,064,423
親投資信託受益証券	1,331,078,826	1,283,689,348
未収入金	4,080,000	5,800,000
流動資産合計	1,340,489,739	1,294,553,771
資産合計	1,340,489,739	1,294,553,771
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	32,853,674	20,067,882
未払解約金	4,033,998	5,755,999
未払受託者報酬	150,172	143,797
未払委託者報酬	3,830,549	3,667,551
その他未払費用	37,475	35,862
流動負債合計	40,905,868	29,671,091
負債合計	40,905,868	29,671,091
純資産の部		
元本等		
元本	1,095,122,473	1,003,394,120
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	204,461,398	261,488,560
（分配準備積立金）	208,455,724	244,719,027
元本等合計	1,299,583,871	1,264,882,680
純資産合計	1,299,583,871	1,264,882,680
負債純資産合計	1,340,489,739	1,294,553,771

損益及び剰余金計算書

	第8期	第9期
	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日	自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
	金額（円）	金額（円）
営業収益		
受取利息	22	15
有価証券売買等損益	187,714,823	104,500,522
営業収益合計	187,714,845	104,500,537
営業費用		
支払利息	591	681

受託者報酬		150,172	143,797
委託者報酬		3,830,549	3,667,551
その他費用		37,475	35,866
営業費用合計		4,018,787	3,847,895
営業利益		183,696,058	100,652,642
経常利益		183,696,058	100,652,642
当期純利益		183,696,058	100,652,642
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額		20,820,831	8,106,304
期首剰余金又は期首欠損金()		87,363,054	204,461,398
剰余金増加額又は欠損金減少額		5,560,804	22,780,526
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額		5,560,804	22,780,526
剰余金減少額又は欠損金増加額		18,484,013	38,231,820
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額		18,484,013	38,231,820
分配金	1	32,853,674	20,067,882
期末剰余金又は期末欠損金()		204,461,398	261,488,560

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第9期	
	自 2021年3月25日	至 2021年9月24日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第8期	第9期
	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
1. 1 期首元本額	1,327,512,388円	1,095,122,473円
期中追加設定元本額	45,088,198円	111,681,482円
期中一部解約元本額	277,478,113円	203,409,835円

2. 計算期間末日における受益権の総数	1,095,122,473口	1,003,394,120口
---------------------	----------------	----------------

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区 分	第8期	第9期
	自 2020年9月25日 至 2021年3月24日	自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
1 分配金の計算過程	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（10,789,481円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（149,632,847円）、投資信託約款に規定される収益調整金（58,146,394円）及び分配準備積立金（80,887,070円）より分配対象額は299,455,792円（1万口当たり2,734.45円）であり、うち32,853,674円（1万口当たり300円）を分配金額としております。</p>	<p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（12,834,275円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（79,712,063円）、投資信託約款に規定される収益調整金（72,340,221円）及び分配準備積立金（172,240,571円）より分配対象額は337,127,130円（1万口当たり3,359.87円）であり、うち20,067,882円（1万口当たり200円）を分配金額としております。</p>

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	第9期
	自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>
2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第9期 2021年9月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第8期 2021年3月24日現在	第9期 2021年9月24日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	166,441,133	96,032,411
合計	166,441,133	96,032,411

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第8期 2021年3月24日現在	第9期 2021年9月24日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

第9期 自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第8期 2021年3月24日現在	第9期 2021年9月24日現在
1口当たり純資産額	1.1867円	1.2606円
（1万口当たり純資産額）	(11,867円)	(12,606円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	地方創生マザーファンド	702,275,479	1,283,689,348	
親投資信託受益証券 合計			1,283,689,348	
合計			1,283,689,348	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

参考情報)

当ファンドは、「地方創生マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「地方創生マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	137,923,442	106,460,880
株式	2,679,310,400	2,715,190,000
未収入金	25,323,891	24,900,586
未収配当金	4,928,300	4,192,725
流動資産合計	2,847,486,033	2,850,744,191
資産合計	2,847,486,033	2,850,744,191
負債の部		
流動負債		
未払金	-	27,711,848
未払解約金	9,080,000	5,800,000
流動負債合計	9,080,000	33,511,848
負債合計	9,080,000	33,511,848
純資産の部		
元本等		
元本	1,680,209,353	1,541,245,603
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,158,196,680	1,275,986,740
元本等合計	2,838,406,033	2,817,232,343
純資産合計	2,838,406,033	2,817,232,343
負債純資産合計	2,847,486,033	2,850,744,191

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式

2. 収益及び費用の計上基準	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
----------------	--

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
1. 1 期首	2020年9月25日	2021年3月25日
期首元本額	1,970,234,780円	1,680,209,353円
期中追加設定元本額	39,465,226円	89,365,017円
期中一部解約元本額	329,490,653円	228,328,767円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
地方創生ファンド（FOFs用）	787,946,976円	702,275,479円
（適格機関投資家専用）		
北海道未来の夢創生ファンド	833,143,084円	794,121,977円
地方創生日本株ファンド	59,119,293円	44,848,147円
計	1,680,209,353円	1,541,245,603円
2. 期末日における受益権の総数	1,680,209,353口	1,541,245,603口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2021年3月25日 至 2021年9月24日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。</p>

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年9月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)	当期間の損益に含まれた評価差額(円)
株式	584,842,560	182,756,287
合計	584,842,560	182,756,287

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年3月25日から2021年3月24日まで、及び2021年3月25日から2021年9月24日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2021年3月24日現在	2021年9月24日現在

該当事項はありません。	該当事項はありません。
-------------	-------------

(1口当たり情報)

	2021年3月24日現在	2021年9月24日現在
1口当たり純資産額	1.6893円	1.8279円
(1万口当たり純資産額)	(16,893円)	(18,279円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘柄	株式数	評価額(円)		備考
		単価	金額	
ウエストホールディングス	10,700	5,610.00	60,027,000	
東急建設	6,100	805.00	4,910,500	
ビーアールホールディングス	17,400	483.00	8,404,200	
オリエンタル白石	44,100	267.00	11,774,700	
日揮ホールディングス	12,500	996.00	12,450,000	
NEC ネットエスアイ	15,400	2,236.00	34,434,400	
中部飼料	5,500	1,157.00	6,363,500	
寿スピリッツ	1,800	7,240.00	13,032,000	
日本ハム	2,700	4,325.00	11,677,500	
日本駐車場開発	91,000	160.00	14,560,000	
ディップ	7,200	4,235.00	30,492,000	
SBSホールディングス	8,200	4,305.00	35,301,000	
WDBホールディングス	2,300	3,735.00	8,590,500	
サンエー	1,800	4,045.00	7,281,000	
JALUX	4,500	1,780.00	8,010,000	
ゲンゼ	4,000	4,430.00	17,720,000	
アルコニックス	7,400	1,695.00	12,543,000	
物語コーポレーション	6,000	7,550.00	45,300,000	
富士紡ホールディングス	4,900	4,555.00	22,319,500	
ダイワボウHD	13,500	1,955.00	26,392,500	
マクニカ・富士エレHLDGS	7,600	2,831.00	21,515,600	
TOKAIホールディングス	25,300	927.00	23,453,100	
鳥貴族ホールディングス	4,200	2,129.00	8,941,800	
帝国繊維	6,100	2,163.00	13,194,300	
BEE NOS	14,700	3,150.00	46,305,000	

コスモス薬品	1,500	20,300.00	30,450,000	
シップヘルスケアHD	5,000	2,902.00	14,510,000	
ソフトクリエイイトHD	5,100	3,395.00	17,314,500	
ツルハホールディングス	500	14,010.00	7,005,000	
バルニバービ	11,100	1,042.00	11,566,200	
ジェイテックコーポレーション	2,200	2,230.00	4,906,000	
テクノフレックス	9,900	992.00	9,820,800	
ジェイ・エス・ビー	6,800	3,105.00	21,114,000	
セーレン	18,900	2,110.00	39,879,000	
ワコールホールディングス	5,200	2,309.00	12,006,800	
サイバーリンクス	5,800	1,497.00	8,682,600	
ヴィンクス	12,300	1,006.00	12,373,800	
アイル	4,400	1,967.00	8,654,800	
ニッポン高度紙工業	5,500	3,385.00	18,617,500	
デジタル・インフォメーション	6,700	2,041.00	13,674,700	
レンゴー	14,500	908.00	13,166,000	
昭和電工	4,800	2,744.00	13,171,200	
日本曹達	5,700	3,680.00	20,976,000	
デンカ	2,000	4,080.00	8,160,000	
イビデン	6,800	6,760.00	45,968,000	
四国化成	17,100	1,437.00	24,572,700	
大阪有機化学	10,400	4,115.00	42,796,000	
プロトコーポレーション	11,500	1,605.00	18,457,500	
シーティーエス	23,500	820.00	19,270,000	
扶桑化学工業	6,400	5,310.00	33,984,000	
システムサポート	4,800	1,373.00	6,590,400	
ヒト・コミュニケーションズHD	6,900	1,958.00	13,510,200	
第一工業製薬	3,300	3,385.00	11,170,500	
日本新薬	1,600	9,770.00	15,632,000	
ダイト	3,800	3,560.00	13,528,000	
ミズホメディー	3,900	3,155.00	12,304,500	
日本空調サービス	11,700	837.00	9,792,900	
アイティフォー	15,400	879.00	13,536,600	
トスネット	4,400	957.00	4,210,800	
フルキャストホールディングス	5,400	2,317.00	12,511,800	
サワイグループHD	5,300	5,240.00	27,772,000	
メック	3,800	3,600.00	13,680,000	
デクセリアルズ	17,900	2,304.00	41,241,600	
アース製薬	1,900	6,970.00	13,243,000	
有沢製作所	14,600	927.00	13,534,200	

東洋炭素	10,300	3,045.00	31,363,500	
日本碍子	8,000	1,964.00	15,712,000	
フジインコーポレーテッド	3,000	6,740.00	20,220,000	
日本製鋼所	7,400	2,968.00	21,963,200	
アサヒHD	6,000	2,145.00	12,870,000	
タクマ	7,000	1,639.00	11,473,000	
ジャパンマテリアル	6,200	1,363.00	8,450,600	
シグマクシス	10,800	2,901.00	31,330,800	
ヒューマン・メタボローム・テク	2,900	856.00	2,482,400	
F U J I	4,400	3,100.00	13,640,000	
ベルシステム24HLDGS	14,800	1,693.00	25,056,400	
フリー	10,600	1,895.00	20,087,000	
平田機工	1,300	7,070.00	9,191,000	
タツモ	8,500	1,646.00	13,991,000	
ホソカワミクロン	1,700	7,350.00	12,495,000	
技研製作所	4,300	4,960.00	21,328,000	
T O W A	6,000	2,825.00	16,950,000	
タクミナ	9,000	1,202.00	10,818,000	
ローツェ	1,400	8,830.00	12,362,000	
荏原実業	6,800	2,906.00	19,760,800	
オルガノ	3,100	7,110.00	22,041,000	
栗田工業	5,400	5,780.00	31,212,000	
兼松エンジニアリング	9,100	1,311.00	11,930,100	
明電舎	5,300	2,565.00	13,594,500	
ダイヘン	2,900	5,140.00	14,906,000	
日東工業	11,500	1,809.00	20,803,500	
I D E C	4,800	2,304.00	11,059,200	
正興電機製作所	3,700	1,460.00	5,402,000	
インスペック	1,100	1,620.00	1,782,000	
アドテックプラズマテクノ	7,200	1,637.00	11,786,400	
E I Z O	8,500	4,365.00	37,102,500	
日本電子材料	6,800	1,929.00	13,117,200	
ウシオ電機	7,500	2,199.00	16,492,500	
山一電機	7,800	1,725.00	13,455,000	
大真空	3,300	4,210.00	13,893,000	
新光電気工業	7,900	3,970.00	31,363,000	
I H I	4,500	2,606.00	11,727,000	
武蔵精密工業	13,500	1,978.00	26,703,000	
太平洋工業	25,100	1,209.00	30,345,900	
豊田合成	5,700	2,300.00	13,110,000	

良品計画	11,200	2,549.00	28,548,800	
S P K	9,800	1,427.00	13,984,600	
萩原電気H L D G S	3,900	2,331.00	9,090,900	
アルビス	4,300	2,492.00	10,715,600	
ドウシシャ	6,500	1,800.00	11,700,000	
アルゴグラフィックス	4,100	3,495.00	14,329,500	
ハンズマン	7,200	1,686.00	12,139,200	
薬王堂ホールディングス	4,400	2,558.00	11,255,200	
ナカニシ	1,100	2,537.00	2,790,700	
スター精密	16,400	1,657.00	27,174,800	
ニホンフラッシュ	10,900	1,201.00	13,090,900	
前田工織	10,400	3,460.00	35,984,000	
フルヤ金属	1,900	9,460.00	17,974,000	
萩原工業	9,300	1,662.00	15,456,600	
フジシールインターナショナル	10,500	2,590.00	27,195,000	
藤森工業	3,800	5,050.00	19,190,000	
ニチハ	3,600	3,320.00	11,952,000	
エフピコ	6,300	4,305.00	27,121,500	
信越ポリマー	22,400	1,106.00	24,774,400	
グロープライド	1,700	9,800.00	16,660,000	
阪和興業	3,500	3,595.00	12,582,500	
ゴ-ルドウイン	1,400	7,480.00	10,472,000	
三益半導体	5,100	2,712.00	13,831,200	
日本瓦斯	15,900	1,655.00	26,314,500	
コメリ	4,500	2,760.00	12,420,000	
丸井グループ	13,600	2,130.00	28,968,000	
アクシアル リテイリング	2,700	4,095.00	11,056,500	
イズミ	3,400	3,695.00	12,563,000	
京阪神ビルディング	7,500	1,480.00	11,100,000	
カチタス	5,600	4,240.00	23,744,000	
東祥	9,600	1,858.00	17,836,800	
青山財産ネットワークス	15,400	977.00	15,045,800	
ハマキョウレックス	4,100	3,465.00	14,206,500	
南海電鉄	5,200	2,387.00	12,412,400	
センコーグループH L D G S	14,100	1,065.00	15,016,500	
九州旅客鉄道	4,600	2,518.00	11,582,800	
GENKY DRUG STORES	2,400	5,250.00	12,600,000	
上組	3,300	2,463.00	8,127,900	
沖縄セルラー電話	3,900	5,400.00	21,060,000	
ファイバーゲート	5,100	1,549.00	7,899,900	

エイチ・アイ・エス	8,400	2,561.00	21,512,400	
三協フロンテア	2,500	5,220.00	13,050,000	
東京都競馬	2,600	4,220.00	10,972,000	
シーイーシー	12,600	1,362.00	17,161,200	
福井コンピュータH L D S	3,500	4,565.00	15,977,500	
ダイセキ	11,500	4,980.00	57,270,000	
アークランドサカモト	6,700	1,791.00	11,999,700	
ニトリホールディングス	1,200	22,715.00	27,258,000	
アークス	3,500	2,372.00	8,302,000	
合計			2,715,190,000	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年10月12日現在
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	102,706,158
コール・ローン	18,054,422
国債証券	18,804,426,362
特殊債券	1,008,202,983
派生商品評価勘定	8,084,542
未収利息	139,925,252
前払費用	4,732,759

差入委託証拠金		132,050,260
流動資産合計		20,218,182,738
資産合計		20,218,182,738
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		2,806,650
未払解約金		12,080,620
流動負債合計		14,887,270
負債合計		14,887,270
純資産の部		
元本等		
元本	1	10,655,704,916
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		9,547,590,552
元本等合計		20,203,295,468
純資産合計		20,203,295,468
負債純資産合計		20,218,182,738

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び特殊債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引

<p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
-----------------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年10月12日現在
1. 1 期首	2021年4月13日
期首元本額	11,224,863,833円
期中追加設定元本額	87,395,523円
期中一部解約元本額	656,554,440円

京都応援バランスファンド (隔月分配型)	170,813,045円
6資産バランスファンド(分配型)	807,748,460円
6資産バランスファンド(成長型)	106,969,315円
ダイワ海外ソブリン・ファンド(毎月分配型)	4,400,498,875円
世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)	46,119,653円
ダイワ外債ソブリン・ファンド(毎月分配型)	176,109,613円
兵庫応援バランスファンド(毎月分配型)	705,407,433円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	165,503,250円
ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	715,789,590円
ダイワ海外ソブリン・ファンド(1年決算型)	17,404,936円
四国アライアンス 地域創生ファンド(年1回決算型)	518,167,671円
四国アライアンス 地域創生ファンド(年2回決算型)	143,350,013円
計	10,655,704,916円
2. 期末日における受益権の総数	10,655,704,916口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年10月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2021年10月12日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
売 建	272,580,000	-	275,386,650	2,806,650
ユーロ	272,580,000	-	275,386,650	2,806,650
買 建	272,580,000	-	280,664,542	8,084,542
アメリカ・ドル	129,800,000	-	133,048,066	3,248,066
オーストラリア・ドル	142,780,000	-	147,616,476	4,836,476
合計	545,160,000	-	556,051,192	5,277,892

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年10月12日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.8960円 (18,960円)

「ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年10月12日現在
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	475,068,284
コール・ローン	449,027,092
国債証券	48,076,876,247
地方債証券	13,967,141,445
特殊債券	1,762,155,563
社債券	9,099,548,064
未収入金	883,714,320
未収利息	346,947,203
前払費用	33,380,741
差入委託証拠金	206,400,076
流動資産合計	75,300,259,035
資産合計	75,300,259,035
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,186,140,128
未払金	579,771,637
未払解約金	6,369,966
その他未払費用	5,940
流動負債合計	1,772,287,671
負債合計	1,772,287,671

純資産の部		
元本等		
元本	1	62,164,637,340
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		11,363,334,024
元本等合計		73,527,971,364
純資産合計		73,527,971,364
負債純資産合計		75,300,259,035

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年4月13日 至 2021年10月12日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年10月12日現在
1. 1 期首	2021年4月13日
期首元本額	61,775,558,656円
期中追加設定元本額	8,902,866,846円
期中一部解約元本額	8,513,788,162円
期末元本額の内訳	
ファンド名	
ネオ・ヘッジ付債券ファンド （FOFs用）（適格機関投資家 専用）	60,998,507,455円
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年1回決算型）	814,330,009円
四国アライアンス 地域創生 ファンド（年2回決算型）	225,520,931円
目標利回り追求型債券ファン ド	125,432,340円
ワールド・アクティブ・ボン ド・オープン（為替ヘッジあ り）	846,605円
計	62,164,637,340円
2. 期末日における受益権の総数	62,164,637,340口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2021年10月12日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2021年10月12日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
売 建	72,895,508,072	-	74,081,648,200	1,186,140,128
アメリカ・ドル	22,658,336,600	-	23,013,663,400	355,326,800
イギリス・ポンド	2,735,049,600	-	2,772,804,600	37,755,000
オーストラリア・ドル	2,717,267,075	-	2,788,838,150	71,571,075
カナダ・ドル	13,826,482,800	-	14,156,656,800	330,174,000
スウェーデン・クローナ	809,675,800	-	821,055,000	11,379,200
ポーランド・ズロチ	1,106,272,155	-	1,124,679,550	18,407,395
メキシコ・ペソ	1,795,892,952	-	1,803,526,770	7,633,818
ユーロ	27,246,531,090	-	27,600,423,930	353,892,840

合計	72,895,508,072	-	74,081,648,200	1,186,140,128
----	----------------	---	----------------	---------------

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年10月12日現在
1口当たり純資産額	1.1828円
(1万口当たり純資産額)	(11,828円)

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

2021年10月29日

資産総額	3,904,476,187円
負債総額	8,611,017円
純資産総額（ - ）	3,895,865,170円
発行済数量	3,264,389,372口
1 単位当たり純資産額（ / ）	1.1934円

(参考) 四国応援マザーファンド

純資産額計算書

2021年10月29日

資産総額	1,205,744,575円
負債総額	840,050円
純資産総額（ - ）	1,204,904,525円
発行済数量	923,259,872口
1 単位当たり純資産額（ / ）	1.3051円

(参考) 地方創生ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

純資産額計算書

2021年10月29日

資産総額	1,240,447,068円
負債総額	3,198,871円
純資産総額（ - ）	1,237,248,197円
発行済数量	1,003,894,004口
1 単位当たり純資産額（ / ）	1.2324円

参考情報 地方創生マザーファンド

純資産額計算書

2021年10月29日

資産総額	2,759,918,717円
負債総額	23,876,190円
純資産総額(-)	2,736,042,527円
発行済数量	1,530,428,023口
1単位当たり純資産額(/)	1.7878円

(参考) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

純資産額計算書

2021年10月29日

資産総額	20,329,110,144円
負債総額	18,427,298円
純資産総額(-)	20,310,682,846円
発行済数量	10,580,719,956口
1単位当たり純資産額(/)	1.9196円

(参考) ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

純資産額計算書

2021年10月29日

資産総額	79,613,117,171円
負債総額	1,947,801,246円
純資産総額(-)	77,665,315,925円
発行済数量	65,593,475,980口
1単位当たり純資産額(/)	1.1840円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典
ありません。

(3) 譲渡制限の内容
譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

受益権の再分割を行なうにあたり、各受益者が保有する受益権口数に1口未満の端数が生じることとなる場合には、当該端数を切り捨てるものとし、当該端数処理は口座管理機関ごとに行ないます。また、各受益者が保有することとなる受益権口数の合計数と、受益権の再分割の比率に基づき委託会社が計算する受益権口数の合計数との間に差が生じることとなる場合には、委託会社が計算する受益権口数を当該差分減らし、当該口数にかかる金額については益金として計上することとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

2021年10月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. 商品会議

ファンド設立時に経営会議の分科会である商品会議を開催し、ファンドの新規設定を決定します。

ロ. 商品担当役員

商品担当役員は、ファンド設立の趣旨に沿って、各ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を決定します。

ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ. リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2021年10月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	57	164,997
追加型株式投資信託	765	21,786,221
株式投資信託 合計	822	21,951,218
単位型公社債投資信託	76	209,609
追加型公社債投資信託	14	1,481,079
公社債投資信託 合計	90	1,690,688
総合計	912	23,641,906

3【委託会社等の経理状況】

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、当中間会計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）は、改正府令附則第3条第1項ただし書きにより、改正後の中間財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第62期事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第63期事業年度に係る中間会計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1)【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	2,741	4,860
有価証券	22,167	333
前払費用	205	237
未収委託者報酬	10,847	13,150
未収収益	63	49
関係会社短期貸付金	-	18,700
その他	62	207
流動資産計	36,088	37,539

固定資産				
有形固定資産	1	217	1	224
建物		7		6
器具備品		209		218
無形固定資産		2,362		1,937
ソフトウェア		2,028		1,882
ソフトウェア仮勘定		333		54
投資その他の資産		15,844		16,121
投資有価証券		9,153		10,159
関係会社株式		3,972		3,705
出資金		183		183
長期差入保証金		1,069		1,068
繰延税金資産		1,431		973
その他		33		30
固定資産計		18,424		18,283
資産合計		54,512		55,822

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	69	68
未払金	7,573	8,405
未払収益分配金	14	13
未払償還金	39	39
未払手数料	3,988	4,734
その他未払金	2 3,530	2 3,617
未払費用	3,830	3,777
未払法人税等	656	804
未払消費税等	590	631
賞与引当金	688	950
その他	5	88
流動負債計	13,414	14,725
固定負債		
退職給付引当金	2,574	2,452
役員退職慰労引当金	88	74
その他	5	3

固定負債計	2,667	2,530
負債合計	16,082	17,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	11,749	10,574
利益剰余金合計	12,123	10,948
株主資本合計	38,793	37,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	363	947
評価・換算差額等合計	363	947
純資産合計	38,430	38,566
負債・純資産合計	54,512	55,822

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	69,550	65,487
その他営業収益	583	419
営業収益計	70,134	65,906
営業費用		
支払手数料	31,120	27,965
広告宣伝費	745	624
調査費	8,858	8,245
調査費	1,188	1,134
委託調査費	7,670	7,110
委託計算費	1,410	1,501
営業雑経費	1,770	1,870
通信費	240	240
印刷費	524	478
協会費	56	51

諸会費	13	14
その他営業雑経費	936	1,084
営業費用計	43,906	40,207
一般管理費		
給料	5,793	5,991
役員報酬	374	351
給料・手当	4,335	4,293
賞与	395	395
賞与引当金繰入額	688	950
福利厚生費	838	893
交際費	62	32
旅費交通費	154	37
租税公課	451	472
不動産賃借料	1,299	1,302
退職給付費用	368	449
役員退職慰労引当金繰入額	37	28
固定資産減価償却費	925	661
諸経費	1,770	1,763
一般管理費計	11,702	11,631
営業利益	14,525	14,067

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31 日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業外収益		
投資有価証券売却益	214	578
有価証券償還益	24	42
その他	991	68
営業外収益計	1,230	689
営業外費用		
投資有価証券売却損	1	69
有価証券償還損	71	47
その他	54	24
営業外費用計	127	141
経常利益	15,629	14,616
特別損失		
システム刷新関連費用	537	547
関係会社整理損失	-	267
投資有価証券評価損	48	45
特別損失計	585	860

税引前当期純利益	15,043	13,756
法人税、住民税及び事業税	4,555	4,476
法人税等調整額	78	109
法人税等合計	4,477	4,366
当期純利益	10,566	9,389

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,868	11,868	11,868
当期純利益	-	-	-	10,566	10,566	10,566
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,302	1,302	1,302
当期末残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	46	46	40,142
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,868
当期純利益	-	-	10,566
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	410	410	410
当期変動額合計	410	410	410
当期末残高	363	363	38,430

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	10,564	10,564	10,564
当期純利益	-	-	-	9,389	9,389	9,389
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,175	1,175	1,175
当期末残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	363	363	38,430
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	10,564
当期純利益	-	-	9,389
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	1,311	1,311	1,311
当期変動額合計	1,311	1,311	136
当期末残高	947	947	38,566

注記事項

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

5. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

6. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2

月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(追加情報)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。この結果、当事業年度の財務諸表への影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。ただし、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2019年7月4日)第7-4項に定める経過的な取扱いに従って、当該注記のうち前事業年度に係るものについては記載していません。

(重要な会計上の見積り)

該当事項はありません。

(未適用の会計基準等)

収益認識に関する会計基準等

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準の適用による影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

前事業年度において、「営業外収益」に独立掲記しておりました「受取配当金」は、金額的重要性が乏しいため、当事業年度より「営業外収益」の「その他」としております。

この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」に表示していた「受取配当金」912百万円、「その他」78百万円は、「その他」991百万円として組替えております。

(注記に関する表示方法の変更)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日。以下「見積り会計基準」という)が公表日以後終了する事業年度における年度末に係る財務諸表から適用できることになったことに伴い、当事業年度末から適用し、(重要な会計上の見積り)を開示しております。

見積り会計基準の適用については、見積り会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、会計基準第6項及び第7項に定める注記事項について、前事業年度における財務諸表に関する注記を省略しております。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
建物	34百万円	35百万円
器具備品	276百万円	259百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
未払金	3,397百万円	3,473百万円

3 保証債務

前事業年度(2020年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,603百万円に対して保証を行っております。

当事業年度(2021年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,727百万円に対して保証を行っております。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				

普通株式	2,608	-	-	2,608
合 計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	11,868	4,550	2019年 3月31日	2019年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2020年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	10,564百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,050円
基準日	2020年3月31日
効力発生日	2020年6月24日

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合 計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	10,564	4,050	2020年 3月31日	2020年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2021年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	9,388百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,599円
基準日	2021年3月31日

効力発生日

2021年6月23日

（金融商品関係）

1．金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式、子会社株式並びに関連会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、親会社に対して貸付を行っているものであります。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

（ ）為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

（ ）価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2．金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（以下、「時価算定適用指針」という。）第26項に従い経過措置を適用した有価証券、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

前事業年度（2020年3月31日）

（1）時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	貸借対照表	計上額	時価	差額
投資有価証券（1）		60	60	-
資産合計		60	60	-

（1）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券267百万円、投資有価証券8,426百万円は上記の表に含めておりません。

（2）時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、コマーシャル・ペーパー、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

当事業年度（2021年3月31日）

（1）時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券（1）	85	-	-	85
資産合計	85	-	-	85

（1）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券333百万円、投資有価証券9,406百万円は上記の表に含めておりません。

（2）時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。なお、時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用している有価証券は、公表さ

れている基準価額によっていることからレベルを付しておりません。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注2）市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	前事業年度	当事業年度
非上場株式等	666	666
子会社株式	1,944	1,677
関連会社株式	2,027	2,027

（有価証券関係）

1．子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（2020年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,944百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

当事業年度（2021年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2．その他有価証券

前事業年度（2020年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	60	55	5
（2）その他	3,004	2,772	232
小計	3,064	2,827	237
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	27,589	28,354	764
小計	27,589	28,354	764
合計	30,654	31,181	526

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 666百万円）については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度（2021年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	85	55	30

(2) その他	7,179	5,697	1,481
小計	7,265	5,752	1,512
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,561	2,721	160
小計	2,561	2,721	160
合計	9,826	8,474	1,352

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他 証券投資信託	1,492	214	1
合計	1,492	214	1

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他 証券投資信託	5,353	578	69
合計	5,353	578	69

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、証券投資信託について48百万円の減損処理を行っております。

当事業年度において、関係会社株式について267百万円、証券投資信託について45百万円の減損処理を行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用していません。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

退職給付債務の期首残高	2,389百万円	2,574百万円
勤務費用	159	155
退職給付の支払額	183	378
その他	207	101
退職給付債務の期末残高	2,574	2,452

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,574百万円	2,452百万円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,574	2,452
退職給付引当金	2,574	2,452
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,574	2,452

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
勤務費用	159百万円	155百万円
その他	27	108
確定給付制度に係る退職給付費用	187	263

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度181百万円、当事業年度186百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	788	750

賞与引当金	177	243
未払事業税	129	170
システム関連費用	198	155
投資有価証券評価損	47	128
出資金評価損	94	94
その他	399	298
繰延税金資産小計	1,835	1,841
評価性引当額	173	254
繰延税金資産合計	1,661	1,586
繰延税金負債		
連結法人間取引（譲渡益）	159	159
その他有価証券評価差額金	71	453
繰延税金負債合計	230	612
繰延税金資産の純額	1,431	973

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（2020年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度（2021年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	(株)大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付 利息の受取 (注)	19,300 0	関係会社短期貸付金 -	18,700 -

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有直接100.0	経営管理	債務保証(注)	1,603	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有直接100.0	経営管理	債務保証(注)	1,727	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(ウ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)(注1)	科目	期末残高(百万円)(注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	16,953	未払手数料	2,984
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,031	未払費用	224
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,061	長期差入保証金	1,054

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券㈱	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売 本社ビルの管理	証券投資信託の代行手数料(注2) 不動産の賃借料(注4)	14,917 527	未払手数料 長期差入保証金	3,321 1,054
同一の親会社をもつ会社	㈱大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	883	未払費用	179
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ㈱	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	527	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

(注5)大和プロパティ株式会社は、2020年10月1日付で大和証券株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。このため、取引金額は関連当事者であった期間の金額を記載しております。

2.親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社(東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	14,732.52円	1株当たり純資産額	14,784.79円
1株当たり当期純利益	4,050.66円	1株当たり当期純利益	3,599.54円

(注1)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2)1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益(百万円)	10,556	9,389
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		2,139
有価証券		250
未収委託者報酬		13,857
関係会社短期貸付金		16,300
その他		369
流動資産合計		32,916
固定資産		

有形固定資産	1	211
無形固定資産		
ソフトウェア		1,633
その他		134
無形固定資産合計		1,768
投資その他の資産		
投資有価証券		11,373
関係会社株式		3,705
繰延税金資産		786
その他		1,246
投資その他の資産合計		17,111
固定資産合計		19,091
資産合計		52,007

(単位:百万円)

当中間会計期間
(2021年9月30日)

負債の部

流動負債

未払金		7,322
未払費用		3,879
未払法人税等		795
賞与引当金		711
その他	2	927

流動負債合計		13,635
--------	--	--------

固定負債

退職給付引当金		2,475
役員退職慰労引当金		92
その他		2

固定負債合計		2,571
--------	--	-------

負債合計

負債合計		16,206
------	--	--------

純資産の部

株主資本

資本金		15,174
資本剰余金		
資本準備金		11,495
資本剰余金合計		11,495

利益剰余金	
利益準備金	374
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	7,594
利益剰余金合計	7,968
株主資本合計	34,638
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,162
評価・換算差額等合計	1,162
純資産合計	35,801
負債・純資産合計	52,007

(2)中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬		37,075
その他営業収益		295
営業収益合計		37,371
営業費用		
支払手数料		15,707
その他営業費用		6,525
営業費用合計		22,233
一般管理費	1	5,737
営業利益		9,400
営業外収益	2	228
営業外費用	3	87
経常利益		9,540
特別利益		-
特別損失	4	129
税引前中間純利益		9,411
法人税、住民税及び事業税		2,910
法人税等調整額		92
中間純利益		6,407

(3)中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	9,388	9,388	9,388
中間純利益	-	-	-	6,407	6,407	6,407
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	2,980	2,980	2,980
当中間期末残高	15,174	11,495	374	7,594	7,968	34,638

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	947	947	38,566
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	9,388
中間純利益	-	-	6,407
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)	214	214	214
当中間期変動額合計	214	214	2,765
当中間期末残高	1,162	1,162	35,801

注記事項

(重要な会計方針)

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（１）子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

（２）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

（１）有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

（２）無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年間）に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

（１）賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

（２）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

（３）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

4．収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

当社は投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。

当社の日々のサービス提供時に当履行義務が充足されるため、一定期間にわたり収益を認識しております。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

6. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

7. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当中間会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当中間会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当中間会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。これによる当中間会計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (2021年9月30日現在)
有形固定資産	307百万円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

3 保証債務

当中間会計期間(2021年9月30日現在)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,726百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)
有形固定資産	12百万円
無形固定資産	289百万円

2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)
投資有価証券売却益	117百万円
時効成立分配金・償還金	28百万円
受取配当金	26百万円

3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)
投資有価証券売却損	58百万円
未収入金清算費用	9百万円

4 特別損失の項目

	当中間会計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)
投資有価証券評価損	102百万円
出資金評価損	27百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608

合計	2,608	-	-	2,608
----	-------	---	---	-------

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2021年6月22日 定時株主総会	普通株式	9,388	3,599	2021年3月31日	2021年6月23日

(金融商品関係)

当中間会計期間(2021年9月30日)

金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、2019年7月4日公表の企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(以下、「2019年適用指針」という。)第26項に従い経過措置を適用した有価証券、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって中間貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券(1)	85			85
資産合計	85			85

(1) 2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券250百万円、投資有価証券10,621百万円は上記の表に含めておりません。

(2) 時価をもって中間貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間(1年以内)で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。なお、2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用している有価証券は、公表されている基準価格によっていることからレベルを付しておりません。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注2）市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	当中間会計期間
非上場株式等	666
子会社株式	1,677
関連会社株式	2,027

（有価証券関係）

当中間会計期間（2021年9月30日）

1．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2．その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額（百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	85	55	30
（2）その他	7,691	5,841	1,850
小計	7,777	5,896	1,881
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	3,179	3,398	219
小計	3,179	3,398	219
合計	10,956	9,294	1,661

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額 666百万円）については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

注記事項（セグメント情報等）に記載のとおり、単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えており、かつ、内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、セグメント情報に追加しての記載は行っておりません。

〔セグメント情報等〕

〔セグメント情報〕

当中間会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

〔関連情報〕

当中間会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

〔報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報〕

当中間会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

〔報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報〕

当中間会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

〔報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報〕

当中間会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

〔1株当たり情報〕

当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
1株当たり純資産額	13,724.67円

1株当たり中間純利益

2,456.52円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
中間純利益(百万円)	6,407
普通株式に係る中間純利益(百万円)	6,407
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項に該当する事実はありません。

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

	名 称	資本金の額 (2021年03月末日現在)	事業の内容	備考
受託会社	三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	(注6)	
再信託受託会社	株式会社日本カストディ銀行	51,000百万円	(注6)	
販売会社	四国アライアンス証券株式会社	3,000百万円	(注1)	
	野村證券株式会社	10,000百万円	(注1)	
	株式会社阿波銀行	23,452百万円	(注3)	
	株式会社伊予銀行	20,948百万円	(注3)	
	株式会社四国銀行	25,000百万円	(注3)	
	株式会社百十四銀行	37,322百万円	(注3)	

(注1) 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

(注2) 主として中小企業向け融資業を営んでいます。

(注3) 銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

(注4) 全国の信用金庫の中央金融機関として、信用金庫の余裕資金の効率運用と信用金庫間の資金の需給調整、信用金庫業界の信用力の維持向上および業務機能の補完を図っています。

(注5) 協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。

(注6) 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(注7) 信用金庫法に基づく金融業を営んでいます。

(注8) 保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。

(注9) 保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。

(注10) 全国の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などの協同組織の全国金融機関として、余裕資金の効率運用と資金の需給調整、当該協同組織の信用力の維持向上及び業務機能の補完を図っています。

(注11) 労働金庫連合会は、労働金庫法に基づき設立された労働金庫の系統中央金融機関です。

2【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行いません。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

再信託受託会社は、受託会社と再信託契約を締結し、信託事務の一部（信託財産の管理等）を行いません。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行いません。

3【資本関係】

該当事項はありません。

第3【その他】

(1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

- ・ 金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。
 - ・ 目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。
 - ・ 委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。
 - ・ 詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - 委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
 - 請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
 - ・ 使用開始日を記載することがあります。
 - ・ 届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
 - 届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
 - 届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
 - ・ 次の事項を記載することがあります。
 - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
 - 「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
 - ・ 委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
 - ・ ファンドの形態等を記載することがあります。
 - ・ 図案を採用することがあります。
 - ・ ファンドの管理番号等を記載することがあります。
 - ・ 委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含みます。）を掲載することがあります。
 - ・ UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。
- (2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用する場合があります。
- (3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。
- (4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。
- (5) 交付目論見書に「投資家のみなさまへ」として、以下の内容を記載することがあります。

投資家のみなさまへ

私どもは、四国を中心に活躍する企業をはじめ、地方創生に資する企業と海外の債券に投資する、ファンドを提供させていただいております。

投資を通じて四国を含む地域の活性化を応援し地域の成長を享受しながら、海外の債券を組み合わせることで安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

お手持ちの資金を預貯金のほか、さまざまな資産に投資することをお考えのお客さまや、将来に備えた資産づくりのために積立投資などをお考えのお客さまの運用商品のひとつとしてふさわしいと考えております。

長期投資をお考えのお客さまの資産運用、資産形成の一助となれば幸いです。

独立監査人の監査報告書

2021年5月21日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 間瀬 友未 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治 印**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの第62期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2021年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2021年5月14日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹内 知明 印**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）の2020年4月11日から2021年4月12日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）の2021年4月12日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2021年11月25日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬	友未
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井	康治

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第63期事業年度の中間会計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2021年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2021年11月19日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹内 知明**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）の2021年4月13日から2021年10月12日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）の2021年10月12日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2021年4月13日から2021年10月12日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。